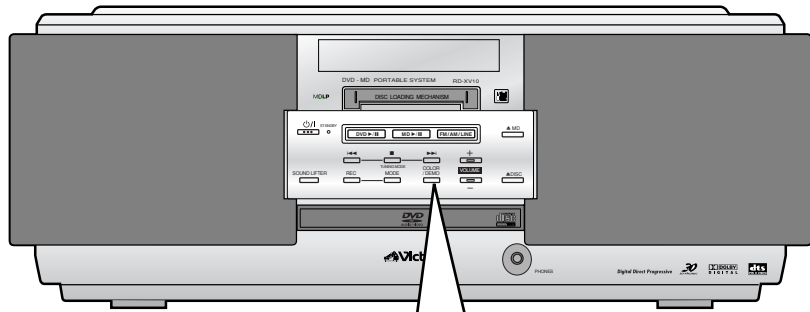
DVD-MDポータブルシステム

型名 RD-XV10

デモ表示について（初めてお使いになるとき）

本機にはデモ表示機能が用意されています。

電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓に本機の特長や機能などを紹介するデモ表示が自動的に始まります。

COLOR / DEMO

デモ表示が出ないようにするには、
電源「**切**」のときCOLOR/DEMOを2秒以上押します。
「DEMO CLEAR」が表示されます。この状態にしてからお使いください。
詳しくは、「デモ表示機能について」（➡**14**ページ）をご覧ください。

MDLP

（Claviaとは、ドイツ語の「鍵盤楽器」の意からの造語です）

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4～7ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源待機時　消費電力 0.9 W

LVT1287-001B

目　次

はじめに　ページ

準備　ページ

基本操作　ページ

ラジオを聞く　ページ

ディスクの再生　ページ

MDを聞く　ページ

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY DIGITAL、Dolby、ドルビー、MLP Lossless及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
dts 2.0+DIGITAL OUT、DTSおよびDTS 2.0+DIGITAL OUTは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意　感電

行為を禁止する記号

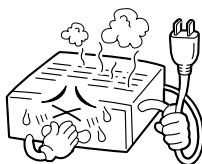
禁止　分解禁止　水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示　電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

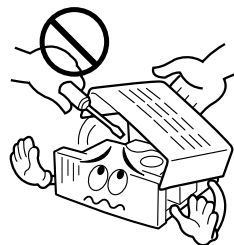
- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

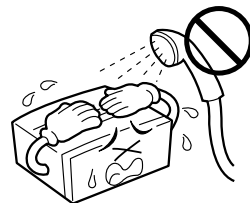
異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。

また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

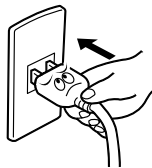
本機の上に水の入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する。

表示された電源電圧以外では、火災·感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

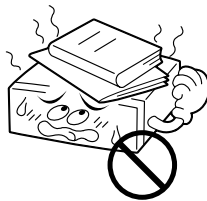
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

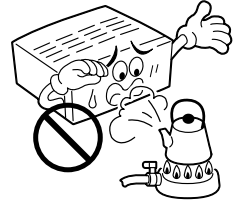
濡れ手禁止

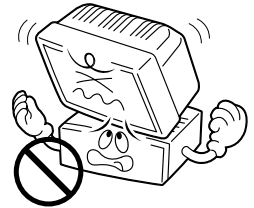
通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

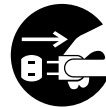
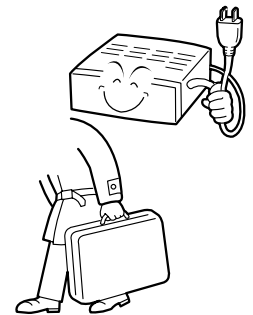
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

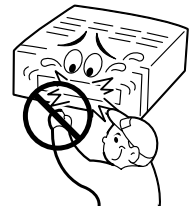
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10 cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

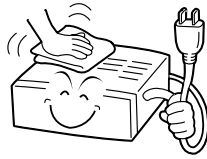
電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

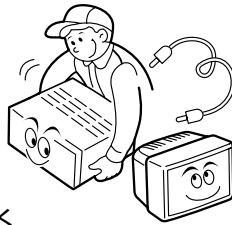
突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

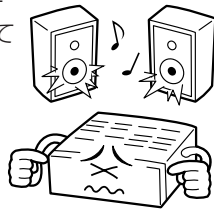
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

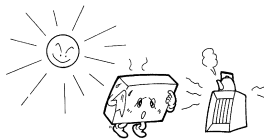
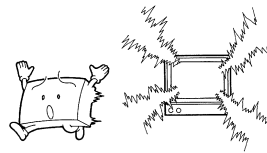
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

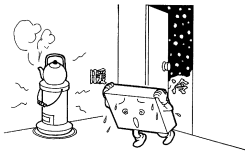
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

本機やディスク、MDの置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所

- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

- 極端に寒い所

- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

- 本機の使用環境温度は、3℃～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。
- 本機は、必ず水平な状態でお使いください。特に8センチのディスクを使用するときはご注意ください。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

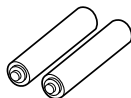
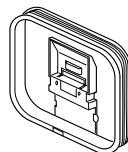
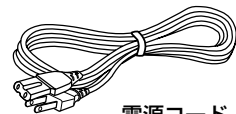
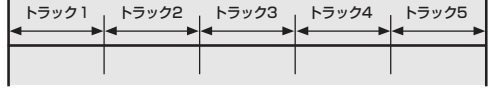
露がついたら

次のようなとき、本機のレンズに露（水滴）が付いて正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
  このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認　お使いになる前にお確かめください。

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン
RM-SRDXV10
（1個）

リモコン用
単3形乾電池
（動作確認用、2本）

AMループアンテナ
（1個）

電源コード
（1本）

ビデオコード(黄)
（1本）

- この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

本機で再生できるディスクについて

再生できるディスクの種類

ディスクの種類とマーク	ディスクの構成	備　考
DVDビデオ (DVD VIDEO)	タイトル1（チャプター1、チャプター2、チャプター3）、タイトル2（チャプター1、チャプター2）	DVDビデオフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**DVD-R/RWディスクを含む
DVDオーディオ (DVD AUDIO)	グループ1（トラック1、トラック2、トラック3）、グループ2（トラック1、トラック2）	DVDオーディオにはボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループの再生について詳しくは **31** ページをご覧ください。
スーパービデオ CD/ビデオCD (Video CD, COMPACT disc DIGITAL VIDEO, COMPACT disc SUPER VIDEO)	トラック1、トラック2、トラック3、トラック4、トラック5	ビデオCDフォーマット、スーパービデオCDフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**CD-R/RWディスクを含む
オーディオCD (COMPACT disc DIGITAL AUDIO)	＊ディスクによっては「インデックス」と呼ばれる頭出しマークがトラックに記録されているものもありますが、本機は、「インデックス」による頭出し機能には対応していません。	オーディオCDフォーマットで記録され、**ファイナライズ処理された**CD-R/RWディスクを含む

次のディスクも再生できます。

- ISO9660フォーマット(MP3/WMAファイルなど音楽・映像ファイルを再生するとき)で記録されたCD-R/RWディスク
- 次のディスクは音声のみ再生できます。
  CD-G(グラフィック)、CD-EXTRA(エクストラ)、CD TEXT(テキスト)、およびMIX-MODE CD

DVDビデオのリージョン番号＊(ローカル番号)について

本機が再生できるのは、リージョン番号表示に「ALL」または「2」が含まれているディスクです。

再生が可能なリージョン番号表示の例

ディスクのジャケットもご参照ください。

＊ リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。

テレビ方式について

本機はNTSCに適合しています。
NTSC以外のテレビ方式(PALなど)のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。
ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになったり、画面のアスペクト比(縦横比)が変わるなど正しく再生されないことがあります。

音声記録方式

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声には、次の5種類があります。

- ドルビーデジタル(Dolby Digital)
- DTS (Digital Theater System)
- リニアPCM
- MPEG(Moving Picture Expert Group)オーディオ
- MLP(Meridian Lossless Packing)

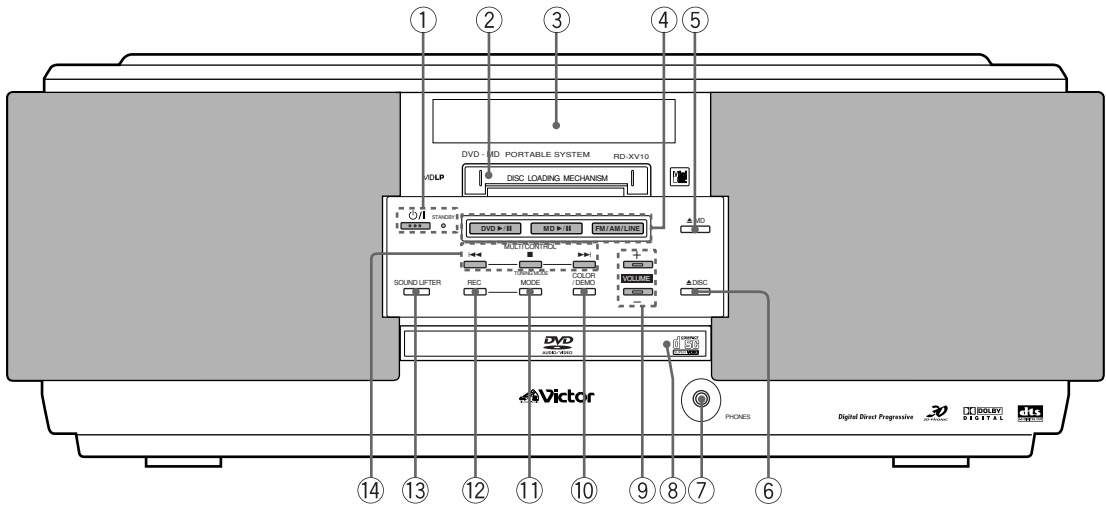
各フォーマットについては、用語集(➡**78**ページ)をご覧ください。

再生できないディスク

- DVD-ROM
- DVD-RAM
- VRフォーマットで記録したDVD-R/RW
- CD-ROM
- SACD
- フォトCD

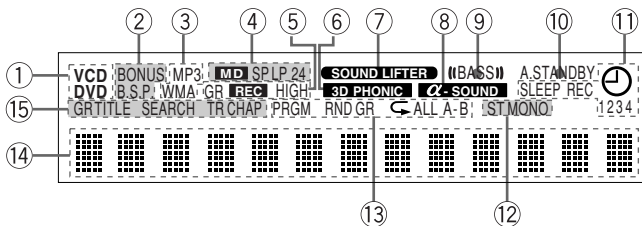
上記のディスクは再生できません。
誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。

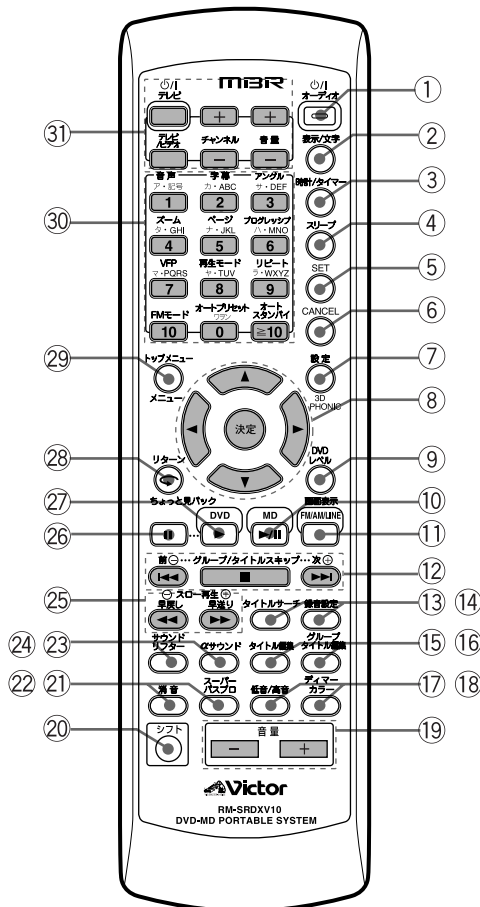
各部の名前 ー(　)内の数字のページに説明がありますー

本　体

① ⏻/I(電源) とSTANDBYランプ(18, 44)
② MD挿入口 (38)
③ 表示窓
④ 操作ボタン
- DVD ▶/II (18, 24 , 44)
- MD ▶/II (18, 38, 44)
- FM/AM/LINE (18, 22, 43, 44)

⑤ ≜ MD（MD取り出し）(39, 44)
⑥ ≜ DISC（ディスク取り出し）(18, 24, 44)
⑦ PHONES（ヘッドホン）端子
ミニプラグ付ヘッドホン（別売り）をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。L字型プラブのときは、横向きに差し込んでください。上向きに差し込むと、ディスクトレイの出し入れに支障をきたします。

⑧ ディスクトレイ (18, 24, 44)
⑨ VOLUME +、− (18)
⑩ COLOR/DEMO (21/14)
⑪ MODE (46, 48)
⑫ REC (46, 48)
⑬ SOUND LIFTER (20)
⑭ I◀◀、■、▶▶I (MULTI CONTROL)
- ラジオ (22, 44)
- ディスク (27)
- MD (39)

表示窓

① ディスク表示(26)
② BONUS表示 (31)/B.S.P.表示 (30)
③ 音楽ファイル表示 (36)
④ MDの再生/録音モード表示 (38, 46)
⑤ 録音表示 (46)
⑥ 3D-PHONIC表示 (30)
⑦ SOUND LIFETER表示 (20)
⑧ αSOUND表示 (21)
⑨ BASS表示 (19)
⑩ A. STANDBY表示 (64)
⑪ タイマー表示 (62)
⑫ ST/MONO表示 (23)
⑬ 再生モード表示 (32, 33, 39〜41)
⑭ 情報表示部
⑮ ディスク再生表示

リモコン(RM-SRDXV10)

① ⏻/I オーディオ (電源) (18)
本機の電源の「入⟺切」に使います。

② **表示/文字 (19, 23, 42, 50, 52)**

③ **時計/タイマー (17, 62)**

④ **スリープ (61)**

⑤ **SET(セット) (17, 23, 49, 51, 54〜60, 63)**

⑥ **CANCEL(キャンセル) (17, 33, 40, 51, 63)**

⑦ **3D-PHONIC(フォニック) 設定 (30/16, 65)**

⑧ **カーソル(▲/▼/◀/▶)、決定**

⑨ **画面表示 DVDレベル (34/30)**

⑩ **MD ▶/II (18, 38)**

⑪ **FM/AM/LINE (18, 22, 43)**

⑫ **⏮(前⊖)、⏭(次⊕)**
グループ/タイトルスキップ
- **ラジオ (22)**
- **ディスク (27)**
- **MD (39, 54〜60)**
- **時計合わせ/タイマー (17/62)**

■(停止)
- **ディスク (26)**
- **MD (39)**

⑬ **タイトルサーチ(42)**

⑭ **録音設定 (46)**

⑮ **タイトル編集 (23, 54〜56)**

⑯ **グループタイトル編集 (57〜60)**

⑰ **低音/高音(19)**

⑱ **カラー ディマー (21/19)**

⑲ **音量 +、− (18〜20)**

⑳ **シフト (16, 17, 23, 29〜33, 39, 40, 64)**

㉑ **スーパーバスプロ (19)**

㉒ **消音 (19)**

㉓ **αサウンド (21)**

㉔ **サウンドリフター (20)**

㉕ **◀◀ (⊖)、▶▶ (⊕) (27,39)**

㉖ **II (ディスクの一時停止) (28)**

㉗ **DVD ▶ (16,24)**

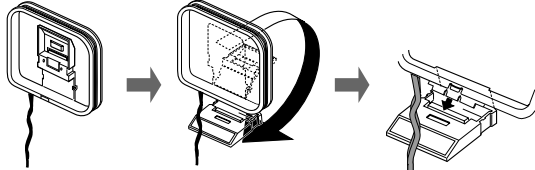
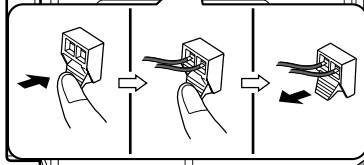
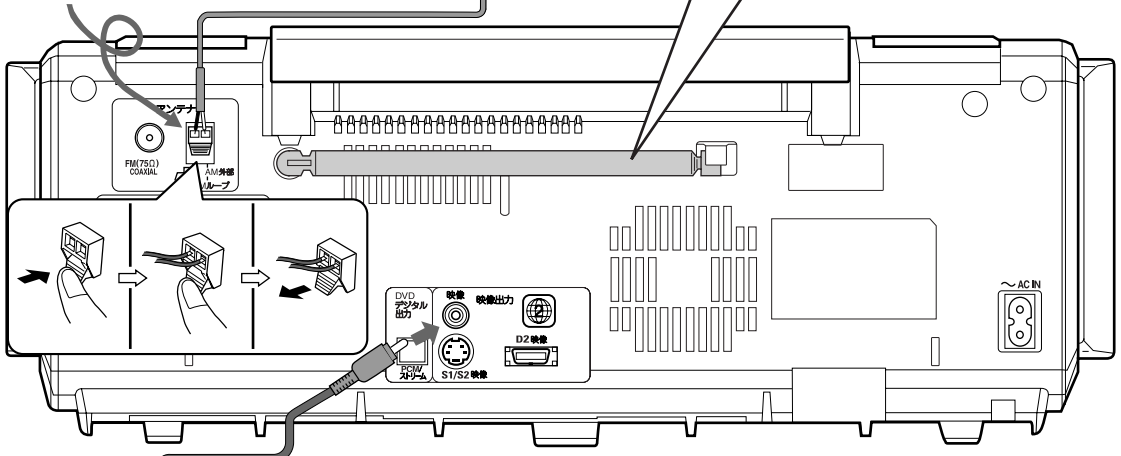
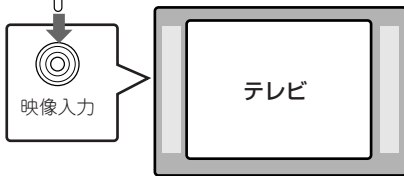
㉘ **ちょっと見バック リターン (28/24)**

㉙ **メニュー トップメニュー (24)**

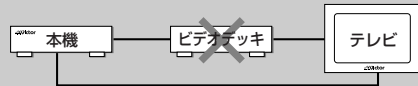
㉚ **数字ボタン (17, 23, 27, 39, 52)**
シフトを押したまま操作すると
1 音声 (29)、2 字幕 (29)、
3 アングル (29)、4 ズーム (30)、
5 ページ (30)、6 プログレッシブ (17)、
7 VFP (31)、8 再生モード (33, 40)、
9 リピート (32, 39)、10 FMモード (23)、
≧10 オートスタンバイ (64)
長押しをすると
0/オートプリセット (23)

㉛ **テレビ操作ボタン**
- **⏻/I テレビ (電源) (69)**
- **テレビ/ビデオ (69)**
- **チャンネル +、− (69)**
- **音量 +、− (69)**

（網掛け）のボタン名は**シフト**を押したまま操作すると機能します。

接　続　ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

テレビにS映像端子やD端子があるときは、13ページの説明をご覧ください。

テレビの接続

• 本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、再生中に画像が乱れることがあります。ビデオデッキ内蔵のテレビ（テレビデオ）につないだ場合も、再生中に画像が乱れる場合があります。
これは、コピープロテクションシステムによるもので故障ではありません。

本機　ビデオデッキ　テレビ
直接つなぐ

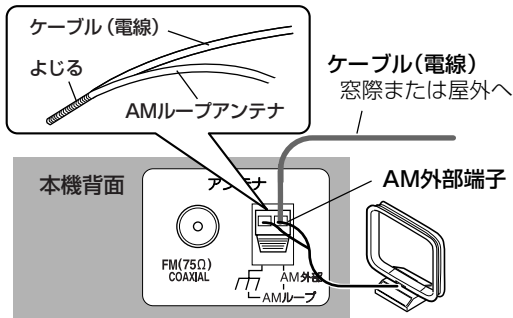
本機を持ち運びするときは

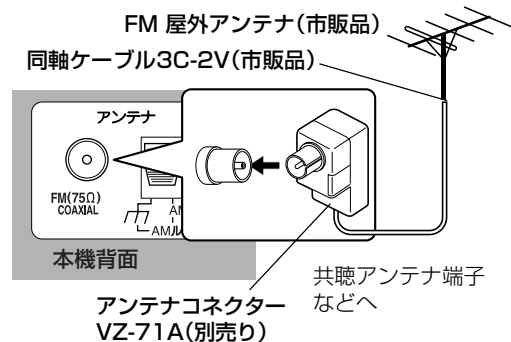
電源コードやアンテナ線、テレビや他の機器との接続コードを事前に外し、ハンドルを持って運んでください。
特に屋外用のFMアンテナを接続しているときは、ご注意ください。

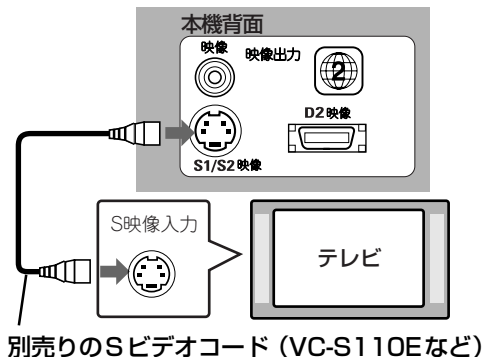
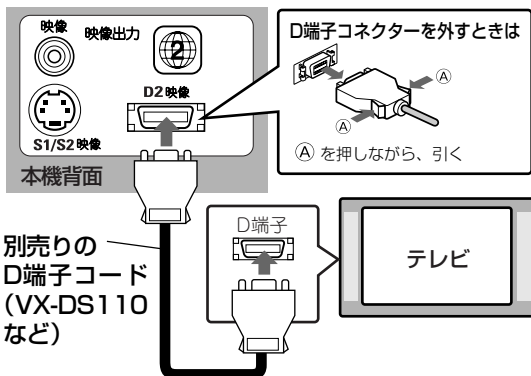
付属のアンテナまたはロッドアンテナだけでうまく受信できないとき

■ AM放送

AM 外部端子に3m～5mのケーブル(電線:市販品)を接続し、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。

AMループアンテナも一緒に接続しておきます。

■ FM放送

マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使います。
市販の同軸ケーブルとアンテナコネクター(別売り)を用意してください。

電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ:CN-511A(別売り)がアンテナコネクターと一緒にご利用になれます。

S映像入力端子付きテレビと接続する

D端子付きテレビと接続する

テレビがプログレッシブ対応のとき、スキャンモードの切換で「プログレッシブ」に設定する(➡17ページ)

- プログレッシブスキャン方式をお楽しみいただくためには、テレビのD端子がD2信号に対応している必要があります。
  詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

S映像端子について

- S映像は、映像を輝度信号(Y)と色信号(C)に分けた映像信号です。映像入力端子に接続した場合(黄色のプラグ)より、色のにじみの少ない鮮明な映像がお楽しみいただけます。
- 本機のS映像出力端子は、S1およびS2映像信号に対応しています。S映像信号にフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビがS1またはS2映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

D端子について

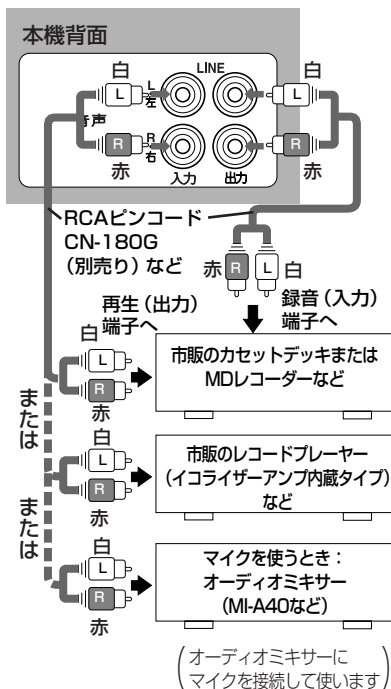
- D端子は、コンポーネント映像信号と同じ信号(映像を色信号2系統と輝度信号1系統に分けた信号)を扱いますが、コード1本で接続でき、送られる映像の信号フォーマットや縦横比(アスペクト比)の検出信号をもっているのが特長です。色の発色がよく、S映像よりも高い映像品位をお楽しみいただけます。
- 本機のD端子は、D2信号まで対応しています。

接　続（つづき）

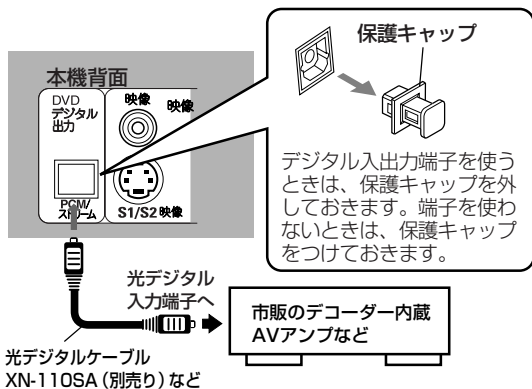
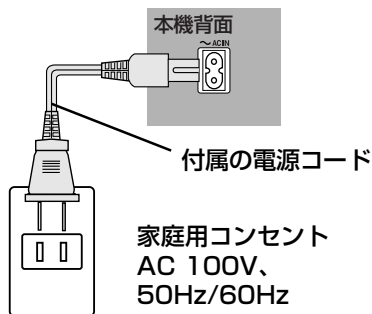
他の機器の接続

- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

アナログ機器の接続

市販のアナログ機器をLINE端子に接続します。

デジタル機器の接続

別売りのデコーダー内蔵AVアンプなどを、DVDデジタル出力端子に接続します。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー、デコーダー内蔵AVアンプと接続すると、高音質のサラウンド再生ができます。

- DVDデジタル出力端子に接続した機器に応じて、出力するデジタル音声の種類を設定してください。(➡**66**ページ参照)

電源コードの接続　すべての接続が終了してから

デモ表示機能について

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、表示窓に「Hello（ハロー）」表示のあと「DEMO（デモ） START!（スタート）」と表示され、本機の特長や機能を紹介するデモ表示が自動的に始まります。
本機のいずれかの操作をすると、「DEMO（デモ） OFF（オフ）」と表示され、デモ表示は解除されます。
デモ表示中に本体のCOLOR（カラー）/DEMO（デモ）を押したときも、「DEMO OFF」と表示され、デモ表示が解除されます。

COLOR / DEMO

- **デモ表示を再開させるには…**
  電源「**切**」のとき本体のCOLOR（カラー）/DEMO（デモ）を押します。
- **デモ表示が出ないようにするには…**
  電源「**切**」のとき、本体のCOLOR（カラー）/DEMO（デモ）を2秒以上押します。「DEMO（デモ） CLEAR（クリア）」が表示されます。
  電源コードを抜き差ししてもデモ表示は始まりません。
  元に戻すときは、もう一度同じ操作をします。
  「DEMO START!」が表示されデモ表示が始まります。

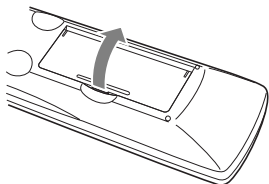
お知らせ

- **「デモ表示」のときは、電源「入」の状態になります。本機を移動したり設置し直したり、停電があったときの誤動作を防ぐため、「DEMO CLEAR」を表示させてからお使いください。**
- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは、本機以外の機器には使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：CN-325Aをお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください（電源が切れていても、電源コードが接続されていると約0.9Wの電力が消費されます）。

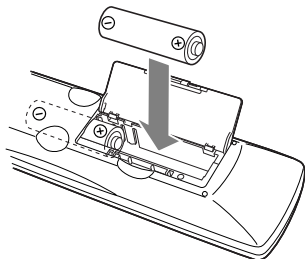
リモコンの準備

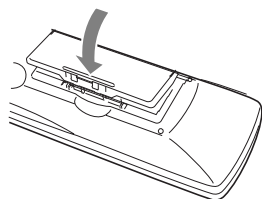
リモコンに乾電池を入れる

単３形の乾電池２本をリモコンに入れます。

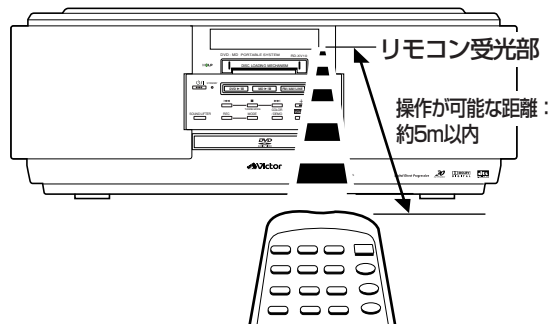
1 裏ぶたをあける

2 乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。

リモコン内部の表示に極性を合わせ、⊕/⊖を正しく入れてください。

3 裏ぶたをしめる

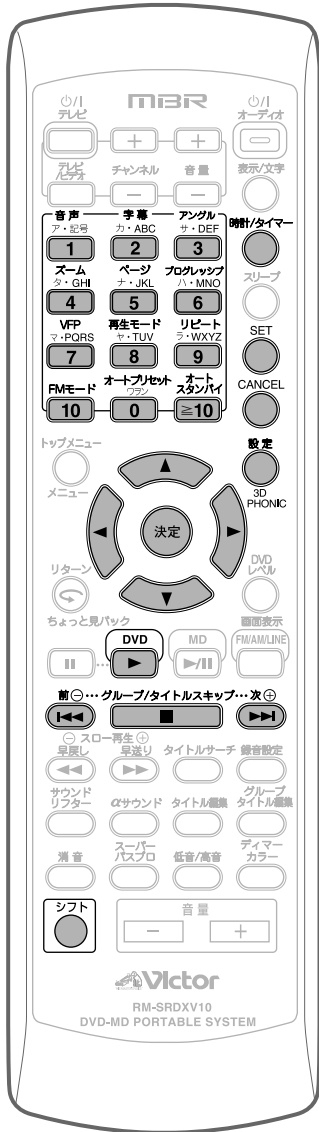
「カチッ」と音がしてしまります。

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池（アルカリとマンガン）と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

リモコンの操作

リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
  交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

お知らせ

- 本機のリモコンを使ってテレビの操作ができます。ビクター製以外のテレビをお使いのときは、「テレビのメーカーコードの設定」が必要です。詳しくは**69**ページをご覧ください。

本機を操作する前の準備

テレビのタイプを設定する

準備

テレビの電源を入れ、本機からの映像が映るようにする

本機と接続したテレビの入力切換を、その端子名(**ビデオ1**など)に切換えます。

1

DVD ▶ を押してから ■ を押す

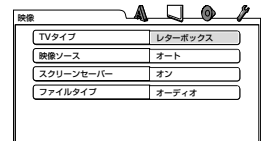
ソース(音源)をDVDにします。

2

シフト を押したまま 設定 (3D PHONIC) を押す

初期設定画面がテレビ画面に表示されます。

3

▶(または◀)を押して「映像」を選ぶ

4

▼(または▲)を押してTVタイプを選び、決定 を押す

- 従来のテレビ(4:3)と接続しているとき 「**レターボックス**」または「**パンスキャン**」を選びます。
- ワイドテレビと接続しているとき 「16:9」を選びます。

詳しくは、「映像設定画面」の「TVタイプ」(➡**66**ページ)をご覧ください。

5

シフト を押したまま 設定 (3D PHONIC) を押す

初期設定画面が消えます。

ご注意

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマー操作をするときは、事前に時刻を設定し直してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「0:00　Sun.」表示に戻ります。もう一度正しい時刻と曜日に合わせてください。

時計を合わせる

• 現在時刻は、テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。

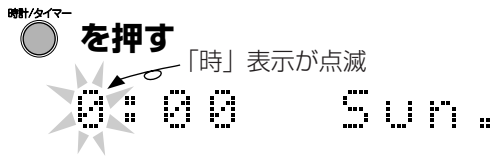
解説

24時間表示の時計を合わせます。

• **電源が「入/切」どちらの状態でも設定できます。**

例:午前10時10分に合わせるとき

1 時計/タイマー を押す

「時」表示が点滅

2 次⊕ (または 前⊖)で「時」を合わせてから SET を押す

次⊕ (または 前⊖)で「分」を合わせてから SET を押す

次⊕ (または 前⊖)で「曜日」を合わせてから SET を押す

曜日表示:

Ｓｕｎ．→日曜日、Ｍｏｎ．→月曜日、
Ｔｕｅ．→火曜日、Ｗｅｄ．→水曜日、
Ｔｈｕ．→木曜日、Ｆｒｉ．→金曜日、
Ｓａｔ．→土曜日

• ▶▶I (またはI◀◀)を押したままにすると、連続して変わります。
• **カーソル▶**(または◀)でも▶▶I (またはI◀◀)と同様の操作ができます。
• 電源「**入**」のときは、約2秒でソース(音源)の表示に戻ります。
• 「曜日」のSET(セット)を押す前に、CANCEL(キャンセル)を押すと「分」の設定に戻り、「分」のときにCANCEL(キャンセル)を押すと、「時」の設定に戻ります。
• **時刻・曜日を合わせ直すとき**は、**時計/タイマー**を5回押して、時計を表示させてから、**手順2**の操作をします。

時刻を数字ボタンで合わせる

手順2のとき数字ボタンを使って「時」と「分」を合わせることもできます。

数字が1〜10のとき:そのまま数字ボタンを押す
数字が11以上のとき:≧10を押してから数字ボタンを押す

例:午前8時5分に合わせるとき:

例:午後8時45分(20時45分)に合わせるとき:

•「曜日」は数字ボタンで合わせることはできません。

スキャンモードの切換え

解説

プログレッシブスキャン対応テレビと本機をD映像端子で接続したときは、スキャンモードをプログレッシブ方式に切換えます。お買い上げ時は、インターレース方式に設定されています。

• **リモコンで操作します。**

1 DVD ▶ を押す

ソース(音源)をDVDにします。
ディスクが入っていないときは、表示窓に「NO DISC」と表示されます。

2 シフト を押したまま プログレッシブ ハ・MNO 6 を押して「PROGRESSIVE(プログレッシブ)」または「INTERLACE(インターレース)」を選ぶ

数秒後、ソース(音源)表示に戻ります。

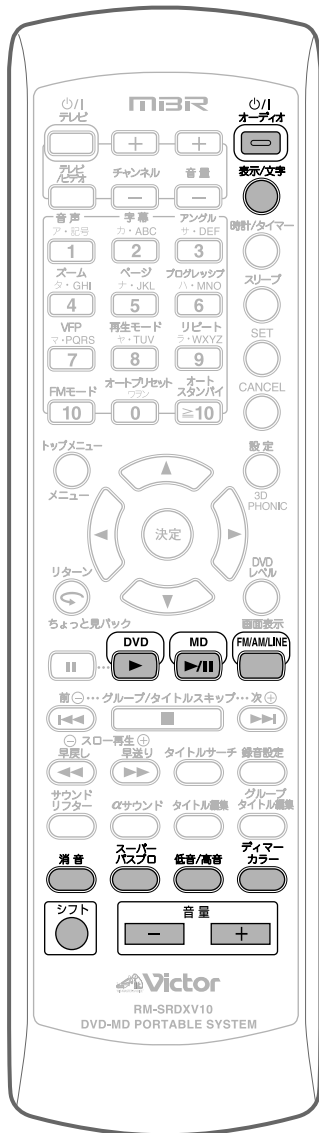
デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

これまでのプログレッシブスキャン対応DVDプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVDビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に写ることがありました。
ビクターの**デジタルダイレクトプログレッシブ方式**は、DVDビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

お知らせ

• テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」にしてください。

＊ 以後、本書では、主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

1 ⏻/I オーディオ を押す（本体は ⏻/I を押す）

- 電源が入り、「Hello（ハロー）」が表示されたあと、現在のソース（音源）名が表示されます。
- STANDBYランプが消灯します。

イチ押しプレイ：

- DVD ►（本体はDVD ►/II）、MD ►/II、FM/AM/LINEのいずれかを押したときも電源が入り、ソース（音源）も変わります（ディスク、MDが入っているときは、再生が始まります）。
- 電源「切」のとき⏏ DISC（ディスク）（ディスク取り出し）を押すと、電源が入りディスクトレイが出てきます。

2 DVD ► MD ►/II FM/AM/LINE のいずれかを押して再生するソース（音源）を選ぶ

	操　作	参照ページ
ディスクを見る/聞く	本体の⏏ DISC（ディスク取り出し）を押し、ディスクトレイにディスクを入れ、DVD ►（DVD ►/II）を押す。	24
MDを聞く	MD挿入口にMDを入れ、MD ►/II（MD ►/II）を押す。	38
ラジオを聞く	FM/AM/LINEを押してFMまたはAMを選び、聞きたい放送局を選局する。	22
他の機器の音声を聞く	FM/AM/LINEを押してLINEを選ぶ。	43

3 音量 − ＋ を押して音量を調節する

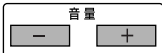
- VOLUME 0〜35の範囲で調節できます。

4 使い終わったら ⏻/I オーディオ を押して電源を切る

表示窓に「See You（シー ユー）」が表示されたあと、現在時刻と曜日が表示され、STANDBYランプが赤く点灯します。

お知らせ

- **電源「切」のときは、MDを入れることができません。無理に押し込むと故障の原因となります。**
- 音量の調節、スーパーバスプロの効果は、スピーカーとヘッドホンの音声に効きます。録音される音には影響ありません。

一時的に消音する

解説 電話のときなど、ボタン一つで簡単に音を消すことができます。

1 消音 を押す

「MUTING」と数秒間表示され、音量が「0」まで下がります。
もう一度**消音**を押すと、徐々に元の音量に戻ります。

- リモコンの**音量**または、本体のVOLUME +を押して音量を上げることもできます。

重低音を強調する

1 スーパーバスプロ を押す

押すごとに「S. BASS ON↔ S. BASS OFF」が選べます。
「S. BASS ON」(お買い上げ時の状態)のときは表示窓に BASS が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

音質を調節する

1 低音/高音 **をくり返し押して「BASS」(低音)または「TREBLE」(高音)を選ぶ**

表示中に

2 音量 − + **を押して調節する**

−5〜0〜+5の範囲で調節できます。

- 音質調節の表示は、数秒後にソース(音源)表示に戻ります。

表示窓を暗くする(ディマー機能)

1 シフト **を押したまま** ディマー/カラー **を押す**

押すごとに表示窓の明るさが次のように変わります。

DIMMER 1 : 表示部→暗い、照明→暗い
↓
DIMMER 2 : 表示部→DIMMER 1より暗い、照明→消える
↓
DIMMER AUTO: DVDビデオなど映像のあるディスクを見ているとき、ディスクの一時停止中、メニュー画面のとき
→DIMMER 2の状態
ディスクの停止中、他のソース(音源)のとき
→DIMMER OFFの状態
↓
DIMMER OFF: 表示部→明るい、照明→明るい

- 電源「切」のときは、「DISPLAY OFF ↔ DISPLAY ON」になります。
「DISPLAY OFF」のときは、時計表示が消えます。

操作中に表示を変える

1 表示/文字 **を押す**

ソース(音源)がMD以外のとき:
押すごとに**時刻と曜日表示 ↔ ソース(音源)表示**に切り換わります。
MDが入っているときは、MDの録音残量時間(REM.表示)も見ることができます。

ソース(音源)がMDのとき:
「演奏中にタイトルなどを見るには」(**➡38** ページ参照)をご覧ください。

サウンドの選択と照明の設定

サウンドリフターを使う

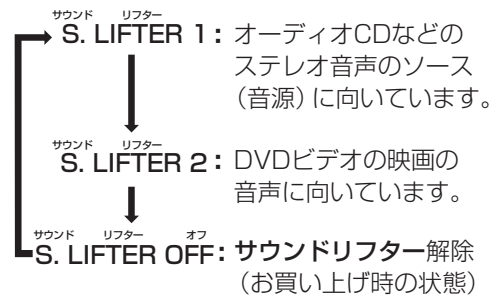
解説

音像を上方向に拡大し、エキサイター機能で音質の明瞭度も向上します。

本機を床やラックの中に置き、そのラックの上にテレビを配置しても、音声と画面が一致した臨場感ある再生音がお楽しみいただけます。

1 サウンドリフター を押す

- 押すごとに次のように変わります。

S. LIFTER 1：オーディオCDなどのステレオ音声のソース（音源）に向いています。
↓
S. LIFTER 2：DVDビデオの映画の音声に向いています。
↓
S. LIFTER OFF：**サウンドリフター**解除（お買い上げ時の状態）

- サウンドリフターを「**オン**」にすると表示窓の SOUND LIFTER 表示が点灯します。

お知らせ

- 再生するソース（音源）やディスクによっては、再生音に違和感を感じることがあります。このようなときは、別のモードを選ぶかオフにしてください。ソース（音源）は2chステレオモードをお勧めします。

お知らせ

- サウンドリフター、αサウンドの効果は、スピーカーとヘッドホンの音声に効きます。録音される音には影響ありません。
- αサウンドおよび3D-PHONICはサウンドリフターを「**オン**」にすると設定が解除されます。

本機のサウンド効果について

本機のサウンド効果には、**サウンドリフター**、**αサウンド**、3D-PHONIC（➡**30**ページ参照）の3つがあります。

それぞれの効果は、一緒にかけることはできません。

αサウンドは、DVDビデオ、ビデオCD（スーパービデオCD）以外のときステレオ/マルチチャンネル音声に関係なく効果の設定ができます。その他の音声のときは、「NO OPERATE」が表示され、操作できません。

3D-PHONICは、DVDビデオ、ビデオCD（スーパービデオCD）のときステレオ/マルチチャンネル音声に関係なく効果の設定ができます。その他の音声のときは、「NO OPERATE」が表示され、操作できません。

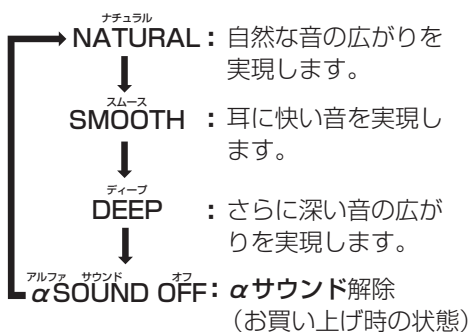
αサウンドを使う

解説

α波周波数のゆらぎで、いやしを目指したαサウンド*をお楽しみください。

1 αサウンド を押す

- 押すごとに次のように変わります。

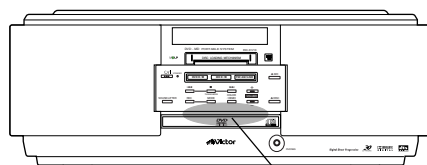
NATURAL（ナチュラル）：自然な音の広がりを実現します。
↓
SMOOTH（スムース）：耳に快い音を実現します。
↓
DEEP（ディープ）：さらに深い音の広がりを実現します。
↓
αSOUND OFF（アルファ サウンド オフ）：**αサウンド**解除（お買い上げ時の状態）

- αサウンドを「**オン**」にすると表示窓の αSOUND 表示が点灯し、ひろがりのある音が楽しめます。

＊αサウンドとは…

α（アルファ）波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターの**αDIMENSION SOUND**は、サラウンド回路の要である左右差信号（**L-R**間接音）にα波周波数でゆらぎを与え（これを**LFO**変調といいます）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

照明の設定

解説

本体の照明の色を設定します。

ソース（音源）ごとの照明を設定することもできます。

1 DVD ▶ MD ▶/II FM/AM/LINE のいずれかを押して再生するソース（音源）を選ぶ

- 再生ソース（音源）をMDにするときは、MD挿入口にMDを入れてから**MD ▶/II**を押してください。MDが本機に入っていないと、再生ソース（音源）はMDになりません。

2 ディマーカラー を押す

再生ソース（音源）名と照明設定が表示されます。

例：ディスクを再生しているとき

DVD　B I　R
（青）（バー）　（赤）

4秒以内に

3 音量 − ＋ を押して照明の色を設定する

- ＋ を押すと**バー**がR（**赤**）側に移動し、赤が強い照明になります。
  − を押すと**バー**がB（**青**）側に移動し、青が強い照明になります。

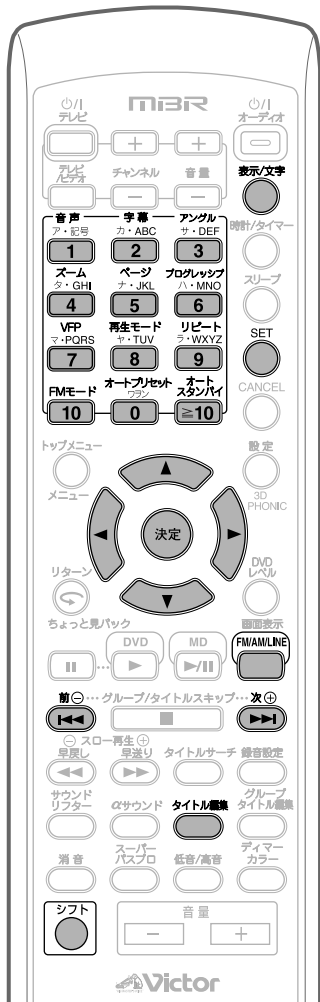
- どの再生ソース（音源）も同じ照明の色にするには

① 上記**手順2**のときもう一度 ディマーカラー を押す

ALL　B I　R
（青）（バー）（赤）

② 音量 − ＋ を押して照明の色を設定する

基本操作

ラジオ放送を聞く

お知らせ

- マニュアル選局の場合、FM放送では0.1MHzずつ、AM放送では9kHzずつ周波数が変わります。

FM放送	0.1MHzずつ	：76.00MHz～108.00MHz
AM放送	9kHzずつ	：531kHz～1629kHz

- 本機は、テレビの音声を受信することはできません。
- 電源を「切」にしたり他のソース(音源)に切換えたとき、最後に受信していた放送局が記憶されます。再びラジオに切換えると、同じ放送局が受信できます。
- **本機はAMステレオ放送には対応しておりません。**

ご注意

- **電源コードをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。**

放送局を受信する
（オート選局、マニュアル選局）

1 **FM/AM/LINE を押してFM放送またはAM放送を選ぶ**

ソース（音源）がラジオになります。

2 **次⊕ ▶▶I（または 前⊖ I◀◀）を押して放送局を選ぶ**

- **カーソル ▲**（または▼）でも同様の操作ができます。

2つの選局方法があります。

オート選局

周波数が変わり始めるまで押したままにします。変わり始めたら指を離します。放送局を受信すると周波数が止まります。途中で止めるときは、ボタンを「ポン」と押します。

マニュアル選局

押すごとに周波数が変わります。

- FMステレオ放送を受信すると、ST表示が点灯します。
- 電波が弱く、オート選局で受信できないときはマニュアル選局に切換えてください。

記憶（メモリー）した放送局を選ぶ
（プリセット選局）

解説

オートプリセットまたはマニュアルプリセット（➡**23**ページ参照）で記憶（メモリー）させた放送局を呼び出します。

1 **FM/AM/LINE を押してFM放送またはAM放送を選ぶ**

2 **数字ボタン（音声 ア・記号 1 ～FMモード 10、オートスタンバイ ≧10）で放送局のプリセット番号を選ぶ**（プリセット選局）

- 数字ボタンの使いかたは、右の説明を参照してください。
- **カーソル ▶**（または◀）でプリセット番号を選ぶこともできます。

オートプリセット
（放送局を自動で記憶）

解説
FM放送とAM放送のオートプリセットは別々に行います。
受信できるすべての放送局、またはプリセットの最大数(FM:30局、AM:15局)まで記憶されると、オートプリセットは終了します。

1 FM/AM/LINE を押してFM放送またはAM放送を選ぶ

2 オートプリセット ワラン 0 を2秒以上長押しする

オートプリセットが始まったら指を離します。終了するとプリセット番号1の放送局が受信されます。

- FM放送のオートプリセットは、76.0MHz～90.0MHzの間で自動選局し記憶されます。
- 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。このようなときは、マニュアルプリセットで選び直してください。
- オートプリセットすると、放送局は記憶されていた放送局に上書きされます。

数字ボタンの使いかた

1～10のプリセット番号を選ぶとき

音声 ア・記号 1 ～ FMモード 10 のいずれかを押します。

11以上のプリセット番号を選ぶとき

15を選ぶ：オート スタンバイ ≧10 ➡ 音声 ア・記号 1 ➡ ページ ナ・JKL 5

20を選ぶ：オート スタンバイ ≧10 ➡ 字幕 カ・ABC 2 ➡ オートプリセット ワラン 0 と押します。

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき

シフト を押したまま FMモード 10 を押して受信モードを切換える

表示窓のMONO表示が点灯し、聞きやすくなることがあります(このとき音声はモノラルになります)。

元に戻すときは
もう一度、**上記の操作**を押します(FM AUTO)。オート受信に変わり、FMステレオ放送のときは、ST表示が点灯します。

マニュアルプリセット
（放送局を手動で記憶）

1 FM/AM/LINE を押してFM放送またはAM放送を選ぶ

2 次⊕ ▶▶| (または 前⊖ |◀◀)を押して記憶させる放送局を選ぶ

➡**22**ページ「放送局を受信する（オート選局/マニュアル選局）」参照。

3 SET を押す

プリセット番号の**1**が点滅します。

点滅中に

4 数字ボタン(音声 ア・記号 1 ～ FMモード 10 、オート スタンバイ ≧10)を押してプリセット番号を選ぶ

- 数字ボタンの使いかたは、左下の説明を参照してください。
- **カーソル** ►(または◄)でプリセット番号を選ぶこともできます。

5 SET を押す

「STORED（ストアード）」が表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。
- FM放送の受信モード(下の「FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき」参照)も記憶されます。

放送局名を入力する(最大8文字)

プリセット選局で受信中の放送局に、最大8文字までの局名をつけることができます。なお、オート選局やマニュアル選局で受信中はできません。

1. タイトル編集 を押す
2. 表示/文字 と数字ボタン(音声 ア・記号 1 ～ リピート ラ・WXYZ 9 、オートプリセット ワラン 0)で局名を入力する
   ➡ 文字の入力方法は**51**ページの「タイトルをつける」の**手順4**参照。
3. 決定 を押す
   - 入力した局名が登録されます。

ラジオを聞く

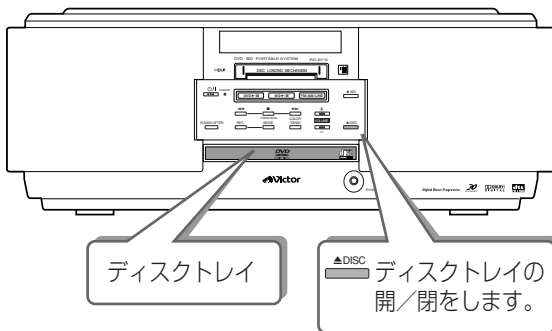
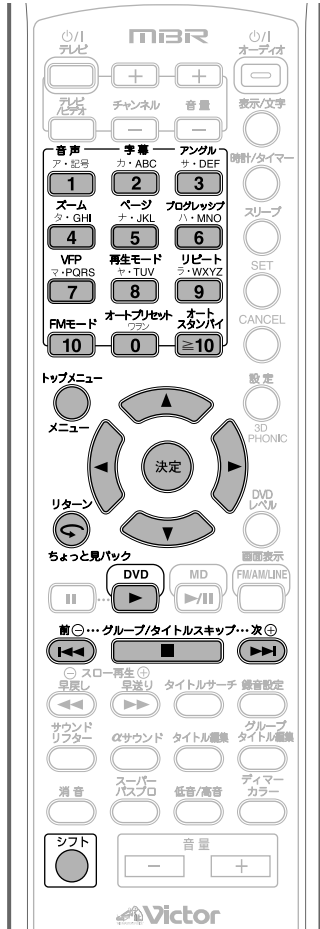
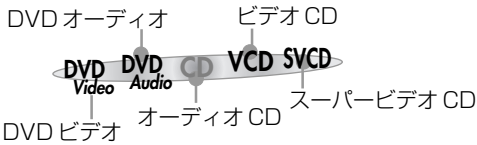
ディスクを再生する

本書では、機能ごとに次のマークを示し、説明中の操作がどの種類のディスクでできるのかお知らせします。

例:オーディオCDでは操作できないとき

DVD オーディオ　ビデオ CD

DVD Video　DVD Audio　CD　VCD　SVCD

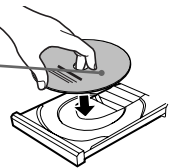
DVD ビデオ　オーディオ CD　スーパービデオ CD

条件　DVD Video　DVD Audio　CD　VCD　SVCD

1 本体の ▲DISC を押す

ディスクトレイが出てきます。

- 電源「**切**」のときは、電源が入ります。

2 ディスクをディスクトレイに置く

- 8センチディスクは内側の凹部に置きます。
- 両面ディスクのときは、通常SIDE-Aを上にして置きます。

3 本体の ▲DISC を押してディスクトレイを閉める

4 DVD ► (本体はDVD ►/II)を押す

ソース(音源)がディスクになります。

- ディスクによっては、ディスクトレイを閉めると再生が始まるものもあります。

■ メニュー画面が表示されたら

DVD Video　DVD Audio　のとき

① を押して見たい映像や項目を選ぶ

② を押す

- メニュー画面によっては、数字ボタンで選ぶ場合もあります。
- メニュー画面に戻すときは、**メニュー**または**シフト**を押したまま**トップメニュー**を押します。
  - DVDオーディオの場合、**シフト**を押したまま**トップメニュー**を押します。

VCDのとき

① **数字ボタン(1 ～ 10 、≧10)を押して見たい番号を選ぶ**

- 数字ボタンの使いかたは、**27**ページをご覧ください。
- メニュー画面に戻すときは、**シフト**を押したまま**リターン**を押します。

VCDまたはSVCDを見ているとき[次]または[前]が表示されたときは

▶▶| を押して、メニューの次のページへ進みます。
|◀◀ を押して、メニューの前のページへ戻ります。

VCDまたはSVCDのPBC(プレイバックコントロール)を「入/切」するには

- **PBCを「切」にして再生するには**
  停止中に数字ボタンでトラック番号を選びます。選んだトラックから通常再生が始まります。
- **PBCを「入」にするには**
  再生中に**メニュー**または**シフト**を押したまま**メニュー**を押します。または、■(停止)を1回(リジューム機能が「**オン**」のときは2回)押してから**DVD ▶**を押します。本体表示窓に「**PBC**」と表示されます。

オープニング画面について

電源を入れた直後や、ディスクを入れる前のテレビ画面にはオープニング画面が表示されます。

メッセージ

オープニング画面の下部には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。

NOW READING(ナウ リーディング)：ディスク情報を読み取り中です。
リージョン コード エラー!：リージョン番号が違うため、再生できません(➡**9**ページ参照)。
NO DISC(ノー ディスク)：ディスクが入っていません。
OPEN(オープン)：ディスクトレイを開いています。
CLOSE(クローズ)：ディスクトレイを閉じています。
このディスクは再生できません：再生不可能なディスクを入れたとき。

スクリーンセーバーについて

テレビ画面の焼き付きを防止します。
停止中などで静止画が表示されてから5分以上何も操作をしないと、画面が暗くなります(スクリーンセーバー機能)。操作を再開すると、明るい画面に戻ります。

- JPEGの再生時には、静止画が表示されてもスクリーンセーバー機能は働きません。

スクリーンセーバー機能は、映像設定画面(➡**66**ページ)で設定します。

再生中に表示されるマークについて

⃠ ： 本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。

以下のマークは**オンスクリーンガイド**といいます。

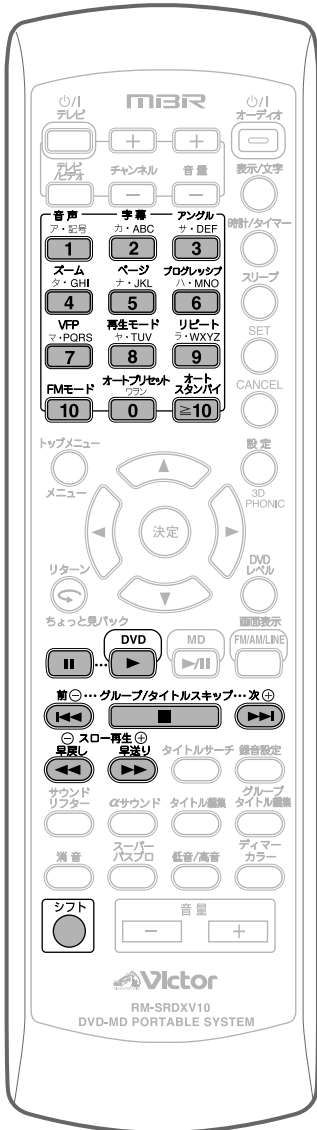
▶ ： 再生を開始すると約3秒間表示されます。
‖ ： 一時停止すると表示されます。
◀◀ ▶▶ ： 早送り/早戻し(➡**27**ページ)をすると表示されます。
◀| |▶ ： スローモーション再生(➡**28**ページ)をすると表示されます。
(音声マーク) ： 複数の音声言語が収録されている場面で表示されます(➡**29**ページ)。
(字幕マーク) ： 複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(➡**29**ページ)。
(アングルマーク) ： 複数のアングルが収録されている場面で表示されます(➡ **29**ページ)。

- **オンスクリーンガイドは表示しないようにすることもできます(➡67ページ)。**

ご注意

- **ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読みとりに時間がかかることがあります。**
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は再生できません。**
- **2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換わるとき、映像や音声が乱れる場合がありますが、これは故障ではありません。**
- **ディスクに傷、汚れをつけないよう取り扱いにご注意ください。使用後はカートリッジに収納してください(詳細はディスクに付属の説明書などをご覧ください。)**
- **NTSC方式以外のテレビ方式(PALなど)で収録されたディスクを再生するときは、正常なプログレッシブスキャン方式での映像はお楽しみいただけません。**
- **本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。**

CDロゴマーク
COMPACT disc DIGITAL AUDIO

ディスクの基本操作

表示窓のディスク表示について

ソース(音源)がディスク(DVDなど)の場合、ディスクトレイに入れたディスクが読み込まれると、ディスクの種類が表示されます。

DVD ：DVDビデオまたはDVDオーディオ
CD ：オーディオCD
VCD ：ビデオCDまたはスーパービデオCD

再生を停止する

条件 DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

1 ■ を押す

オーディオCD以外のディスクでは、表示窓に「RESUME（リジューム）」が表示され、停止位置が記憶されます。このときリジューム再生することができます。

- リジューム設定(➡**67**ページ)を「**オフ**」に変更したときは、表示されません。

停止位置の記憶(リジューム)について

- 再生中に ■(停止)を押す
- 再生中にソース(音源)を切換える
- 再生中に電源を「**切**」にする

の操作をすると、停止位置が記憶されます。

記憶された停止位置は電源を「**切**」にしても残りますが、停止中に ■(停止)を押したりディスクトレイを開けると取り消されます。

リジューム再生をする

条件 DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

<リジューム設定が「オン」で、前回再生を中断したディスクが入っているとき>

1 DVD ► を押す

記憶された(前回停止した)位置から続きが再生されます。電源が「**切**」のときは、電源が「**入**」になり再生が始まります。

- 電源を「**入**」にしてからDVD ► を押すと停止位置の記憶が取り消され、リジューム再生できません。

ディスクのはじめから再生するとき

停止中に ■(停止)を押して、位置の記憶を取り消してからDVD ► を押します。

お知らせ

- ディスクによっては働かないことがあります。
- プログラム再生またはランダム再生のモードにすると、停止位置の記憶は取り消されます。リジューム再生は働きません。
- メニュー画面を表示中は、停止位置が記憶できないことがあります。
- PBC対応のビデオCDでは、記憶されている停止位置よりも手前、または後ろから再生されることがあります。
- 停止位置と一緒に、音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。

その他の基本操作（早送り/早戻しをする、チャプター/トラックの頭出し、タイトル/グループの頭出し、数字ボタンで頭出しをする[ダイレクト再生]）

■ 早送り/早戻しをする

条件 ＜再生中に＞ DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

早送り／早戻し1

① 次⊕ ▶▶I または 前⊖ I◀◀ を押したままにする

押している間、5倍速/20倍速の早送り（▶▶I）または早戻し（I◀◀）再生になります。

② 見たいところで指を離す

通常の再生に戻ります。

早送り／早戻し2（リモコンのみ）

① ⊕早送り ▶▶ または ⊖早戻し ◀◀ をくり返し押す

押すごとに、早送り/早戻しのスピードが2倍から60倍まで次のように変化します。

2 ➡ 5 ➡ 10 ➡ 20 ➡ 60

② 見たいところで DVD ▶ を押す

通常の再生に戻ります。

お知らせ

- オーディオCDとDVDオーディオ以外のディスクのとき、早送り/早戻し中に音声は出ません。

■ チャプター/トラックの頭出し

DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

条件	＜DVDビデオ：再生中に＞ ＜DVDオーディオ/オーディオCD：いつでも＞ ＜ビデオCD/スーパービデオCD：停止中またはPBCオフで再生中＞

① 次⊕ ▶▶I または 前⊖ I◀◀ を押す

くり返し押すと、前後の頭出しができます。

- 再生中にI◀◀を１回押すと、現在再生しているチャプターまたはトラックの頭に戻ります。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDのとき、停止中に▶▶IまたはI◀◀を押してからDVD ▶ を押すと、選んだトラックから再生が始まります。

お知らせ

- DVDビデオやPBC対応ビデオCDによっては、これらの機能を使えないものがあります。

■ タイトル/グループの頭出し

条件 ＜再生中に＞ DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

① シフト を押したまま 次⊕ ▶▶I または 前⊖ I◀◀ を押す

▶▶I を押すと次のタイトル（DVDビデオ）またはグループ（DVDオーディオ）に進み、I◀◀ を押すと、現在再生中のタイトルまたはグループの頭に戻ります。

■ 数字ボタンで頭出しをする [ダイレクト再生]

DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

条件	＜DVDビデオ：再生中に＞ ＜DVDオーディオ/オーディオCD：いつでも＞ ＜ビデオCD/スーパービデオCD：停止中またはPBCオフで再生中＞

① 数字ボタン（1 ～ 10、≧10）を使って番号を指定する

指定した番号から再生が始まります。

- DVDビデオのとき、停止中はタイトル、再生中はチャプターが指定されます。
- DVDビデオ以外のディスクでは、トラックが指定されます。
- DVDオーディオにグループがあるときは、**シフト**を押したまま▶▶I（またはI◀◀）でグループの頭出しをしてから数字ボタンを押します。
- DVDオーディオの場合、ディスクによっては、再生中に数字ボタンが使えないことがあります。

数字ボタンの使いかた

1～10の番号を選ぶとき

1 ～ 10 のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15を選ぶ：≧10 ➡ 1 ➡ 5

20を選ぶ：≧10 ➡ 2 ➡ 0

と押します。

ディスクの便利な機能

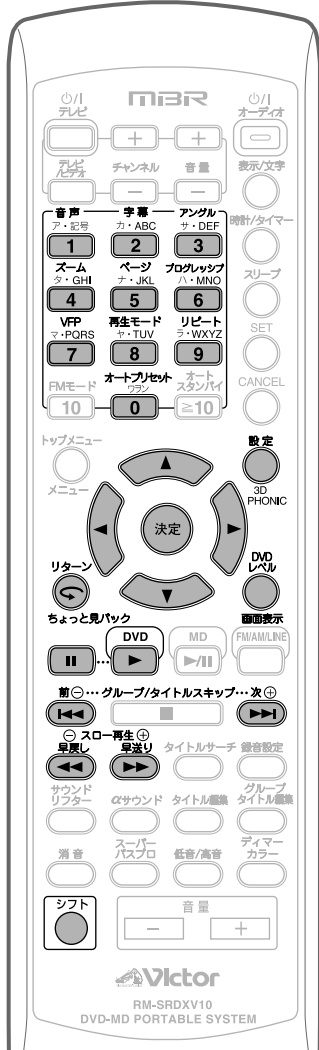
ちょっと見バック

解説・条件

ちょっと前のシーンをワンタッチで見ることができます。

＜再生中に＞ DVD Video　DVD Audio　CD　VCD　SVCD

1 リターン（ちょっと見バック） **を押す**

約10秒前に戻ってから再生が始まります。
- DVDビデオによっては、働かない場合があります。また、再生するタイトルが切換わった直後などは、前のタイトルに戻ることはできません。

一時停止/コマ送り/スロー再生をする[スロー]

条件

一時停止： DVD Video　DVD Audio　CD　VCD　SVCD

コマ送り：
スロー再生： DVD Video　DVD Audio　CD　VCD　SVCD

＜再生中に＞

1 **II を押して一時停止する**

- 時間表示が点滅します。

2 コマ送り

コマ送りするには

さらに II を押す

（リモコンのみ）

押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。

2 スロー再生

スロー再生するには

⊕早送り ►► または ⊖早戻し ◄◄ を押す

►► を押すと順方向のスロー再生になります。

◄◄ を押すと逆方向のスロー再生になります。

- 押すごとに、再生スピードが次のように変化します。

$$\frac{1}{32} \Rightarrow \frac{1}{16} \Rightarrow \frac{1}{8} \Rightarrow \frac{1}{4} \Rightarrow \frac{1}{2}$$

通常の再生に戻すとき

DVD ► を押します。

お知らせ
- スローモーション再生中は、音声が出ません。
- ビデオCD/スーパービデオCDでは逆方向のスローモーション再生はできません。

音声言語/音声を選ぶ[音声]

解説・条件

- DVDビデオでは、複数の音声が収録されている箇所の冒頭で、画面に「◯◯)」が表示されます。

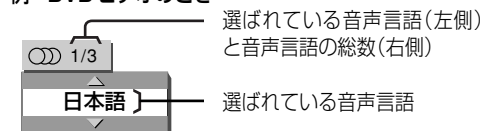
<再生中に> DVD Video

1 シフトを押したまま 音声 1 を押す

テレビ画面に音声選択ウィンドウが表示されます。

例：DVDビデオのとき

選ばれている音声言語(左側)と音声言語の総数(右側)

選ばれている音声言語

2 さらにシフトを押したまま 音声 1 をくり返し押して音声言語または音声を選ぶ

押すごとに、音声言語/音声が切換わります。

音声選択ウィンドウを消すには
決定を押します。
- 何も操作しないと数秒間で消えます。

アングルを切換える[アングル]

解説・条件

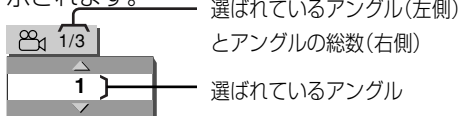
- DVDビデオでは、複数のアングルが収録されている箇所の冒頭で、画面に「🎥」が表示されます。

<再生中に> DVD Video

1 シフトを押したまま アングル 3 を押す

テレビ画面にアングル選択ウィンドウが表示されます。

選ばれているアングル(左側)とアングルの総数(右側)

選ばれているアングル

2 さらにシフトを押したまま アングル 3 をくり返し押してアングルを選ぶ

押すごとに、アングルが切換わります。

アングル選択ウィンドウを消すには
決定を押します。
- 何も操作しないと数秒間で消えます。

字幕を切換える[字幕]

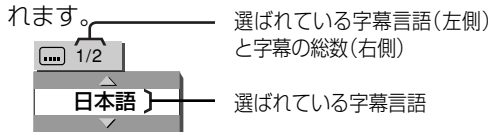
解説・条件

- DVDビデオでは、字幕が収録されている箇所の冒頭で、画面に「....」が表示されます。

<再生中に> DVD Video

1 シフトを押したまま 字幕 2 を押す

テレビ画面に字幕選択ウィンドウが表示されます。

選ばれている字幕言語(左側)と字幕の総数(右側)

選ばれている字幕言語

2 カーソル▼(または▲)を押して字幕言語を選ぶ

押すごとに、字幕言語が切換わります。

字幕選択ウィンドウを消すには
決定を押します。
- 何も操作しないと数秒間で消えます。

■ 字幕のオンとオフ

① シフトを押したまま 字幕 2 をくり返し押す

選ばれている字幕言語と字幕なし(オフ)が交互に切換わります。

お知らせ

- メニューバーを使って、音声、アングル、字幕を選ぶこともできます(➡**35**ページ参照)。
- DVDビデオの再生中、音声選択ウィンドウまたは字幕選択ウィンドウに表示される言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(➡**68**ページ参照)で表示されます。
- オンスクリーンガイドが「**オフ**」のときは「◯◯)」、「🎥」、「....」は表示されません(➡**67**ページ参照)。
- 「音声言語/音声を選ぶ[音声]」の**手順2**の操作と「アングルを切換える[アングル]」の**手順2**の操作は、**カーソル▼**(または▲)を押しても選ぶことができます。

ディスクの便利な機能（つづき）

音場にサラウンド感を出す［3D-PHONIC］

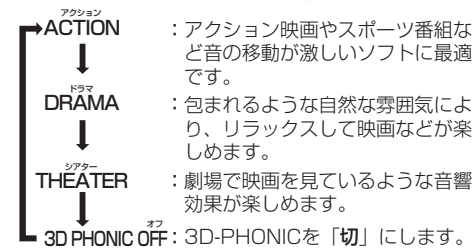
解説・条件

- 3D-PHONICを使うと、2本のスピーカーだけでサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

＜再生中に＞ DVD Video / DVD Audio / CD / VCD / SVCD

1 設定（3D PHONIC）を押す

表示窓に3D-PHONICの各モードが数秒間表示され、3D PHONIC が点灯します。
- 押すごとに、次のように切換わります。

ACTION：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
↓
DRAMA：包まれるような自然な雰囲気により、リラックスして映画などが楽しめます。
↓
THEATER：劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
↓
3D PHONIC OFF：3D-PHONICを「切」にします。

- 雑音が多いときや音が歪むときは、「3D PHONIC OFF」にしてください。
- ヘッドホンでは効果が薄くなります。
- DVDオーディオの場合は、「NO OPERATE」になります。

DVDレベルを調節する

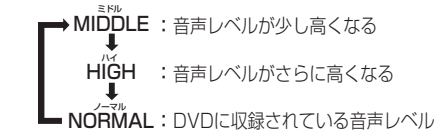
解説・条件

- DVDビデオ/DVDオーディオの音声は、他の種類のディスクよりも低いレベルで収録されている場合があります。再生中、他の種類のディスクと比べて音が小さく聞こえるときは、DVDレベルを調節します。

＜再生中に＞ DVD Video / DVD Audio / CD / VCD / SVCD

1 シフトを押したまま DVDレベル（画面表示）を押す

- 押すごとに、次のように切換わります。

MIDDLE：音声レベルが少し高くなる
↓
HIGH：音声レベルがさらに高くなる
↓
NORMAL：DVDに収録されている音声レベル

- 調節したDVDレベルは、ディスクを取り出しても記憶されています。
- 調節したDVDレベルは、DVDビデオ/DVDオーディオの再生時のみ有効です。DVDビデオ/DVDオーディオ以外のディスクのときは働きません。

画面を拡大する［ズーム］

条件

DVD Video / DVD Audio / CD / VCD / SVCD

＜再生中または一時停止中に＞

1 シフトを押したまま ズーム（4）を押す

- 押すごとに、倍率が変化します。

OFF → ズーム1 → ズーム2 → ズーム3 → ズーム4 → ズーム5 → ズーム6 → OFF

2 ▲▼◀▶を押して拡大したい部分を選ぶ

通常の映像に戻すには
手順1の操作をくり返して「OFF」を選びます。

お知らせ
- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。
- DVDオーディオの場合：
  – 静止画再生中のズームは無効です。
  – ディスクによっては、ズームができません。

DVDオーディオの静止画像を選ぶ［ページ］

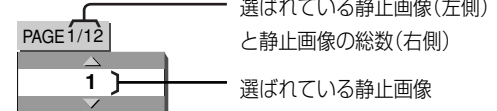
条件

- DVDオーディオによっては、音声とともに自動で再生される静止画が収録されていることがあります。これを「B.S.P.(Browsable Still Picture)」と言います。

＜再生中、表示窓のB.S.P.が点灯しているとき＞ DVD Video / DVD Audio / CD / VCD / SVCD

1 シフトを押したまま ページ（5）を押す

テレビ画面にページ選択ウィンドウが表示されます。

PAGE 1/12：選ばれている静止画像（左側）と静止画像の総数（右側）
1：選ばれている静止画像

2 さらに シフトを押したまま ページ（5）をくり返し押してページを切換える

ページ選択ウィンドウを消すには
決定を押します。
- 何も操作しないと数秒間で消えます。

画質を調節する[VFP]

解説・条件

- 部屋の照明やお好みに合わせて画面の画質を調節することができます。

<再生中に> DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

1 シフト ● を押したまま VFP マ・PQRS 7 を押す

テレビ画面にVFP設定ウィンドウが表示されます。

2 カーソル ▶ (または ◀)を押してVFPモードを選ぶ

ノーマル　：通常はこれを選びます。
シネマ　：映画を見るとき選びます。
ユーザー1、2：設定を変更して記憶させるとき選びます。

「**ユーザー1**」または「**ユーザー2**」を選んだときは、次の手順で設定を変更します。

3 カーソル ▼ (または ▲)を押して項目を選び、決定 を押す

ガンマ　：暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。
明るさ　：明るさを調節します。
コントラスト　：コントラストを調節します。
色のこさ　：色の濃さを調節します。
色合い　：色合いを調節します。
シャープネス　：シャープさを調節します。

4 カーソル ▼ (または ▲)を押して項目を調節し、決定 を押す

5 手順3、4をくり返して他の項目を調節する

- 調節が終了したら、そのまま何も操作をしないと数秒後に表示が自動で消えます。

DVDオーディオのボーナスグループを再生する

解説・条件

- DVDオーディオによっては、キーナンバー(パスワード)を入力して再生することができるグループが収録されていることがあります。これをボーナスグループと言います。キーナンバー(パスワード)を知る方法(ジャケットに記載など)はディスクによって異なります。

DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

<表示窓のBONUS表示が点灯しているDVDオーディオが再生中に>

1 シフト ● を押したまま 次⊕ ⏭ を押してボーナスグループ(ディスク最後のグループ)を選ぶ

テレビ画面　本体表示窓

KEY ____　KEY ____

2 数字ボタン(音声 ア・記号 1 ～ リピート ラ・WXYZ 9、オートプリセット ワラン 0)でキーナンバー(パスワード)を入力してから 決定 を押す

ボーナスグループの再生が始まります。

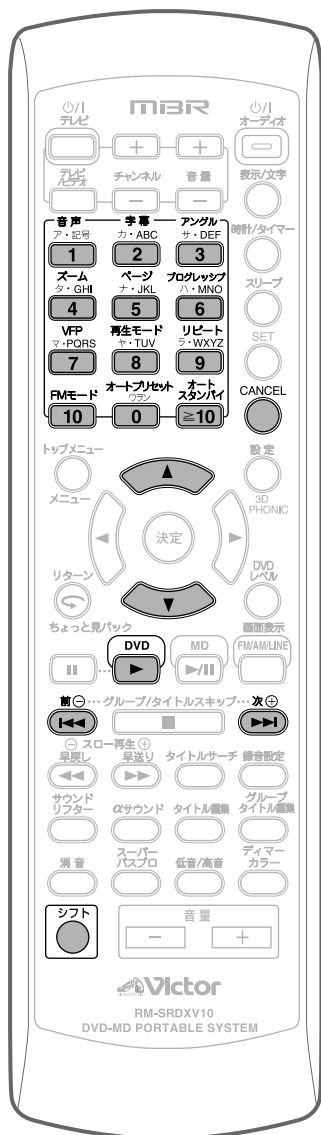
- キーナンバー(パスワード)が間違っているときは、入力表示はそのまま表示されます。

入力表示を消すには

次のいずれかの操作をします。

- ■(停止)を押す
- ⏏ DISC(ディスク)(ディスク取り出し)を押してディスクトレイを開ける
- 電源を「**切**」にする

くり返し再生する[リピート]

DVD Video　DVD Audio　CD　VCD　SVCD

条件

<DVDビデオ/DVDオーディオ:再生中に>
<オーディオCD:再生中/停止中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:停止中またはPBCオフで再生中に>

1 シフト を押したまま リピート(ラ・WXYZ 9) を押す

押すごとに、リピートモードが切換わり、本体表示窓とテレビ画面に次のように表示されます。

• 停止中は、DVD ►を押してリピート再生を始めます。

本体表示窓	テレビ画面	モードの説明
⮎	CHAP (DVDビデオ)	現在再生中のチャプターをくり返し再生
	TRACK (DVDビデオ以外)	現在再生中のトラックをくり返し再生
⮎ ALL	TITLE (DVDビデオ)	現在再生中のタイトルをくり返し再生
GR ⮎	GROUP (DVDオーディオ)	現在再生中のグループをくり返し再生
⮎ ALL	ALL (DVDビデオ/DVDオーディオ以外)	全トラックをくり返し再生
REPEAT OFF	OFF	リピート再生のモードを解除

• **この他に、任意の2点間をくり返すA-Bリピート再生をすることもできます。A-Bリピート再生について詳しくは、35ページをご覧ください。**

リピート再生をやめるには
■(停止)を押して再生を停止します。

• DVDビデオのときは、再生を停止すると同時にリピート再生のモードも解除されます。DVDビデオ以外のときは、リピート再生のモードは解除されません。

リピート再生のモードを解除するには
リピートを押して本体表示窓のリピートモード表示を消灯させるか、テレビ画面に「OFF」を表示させます。

プログラム再生またはランダム再生(➡**33**ページ参照)**のときのリピート再生のモード**
プログラム再生またはランダム再生をくり返すリピート再生(REPEAT ALL)のモードと、再生中のチャプター(トラック)だけをくり返すリピート再生(REPEAT STEP)のモードが選べます。

プログラム再生

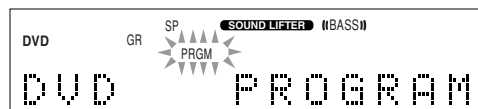
解説・条件

- チャプター/トラックをお好みの順番で再生することができます。最大99ステップまでプログラムできます。

<停止中に> DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

1 シフト ◯ を押したまま 再生モード ヤ・TUV 8 を押して本体表示窓にPRGMを点灯させる

テレビ画面にはプログラム設定画面が表示されます。

本体表示窓：(例DVDビデオのとき)

テレビ画面：プログラム設定画面

2 **数字ボタンで、再生したい順にチャプター/トラック番号を選ぶ**

- 数字ボタンの使いかたは、「数字ボタンで頭出しをする［ダイレクト再生］」(➡**27**ページ)を参照してください。

オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCDの場合

トラック番号を選びます。

DVDビデオ、DVDオーディオ(またはMP3/WMAファイル)の場合

最初にタイトル(グループ)番号を選び、そのあとチャプター(トラック)番号を選びます。

- 番号を間違えたときは、CANCEL(キャンセル)を押します。最後のプログラム内容が消えます。CANCEL(キャンセル)を2秒以上長押しすると、すべてのプログラム内容が消去されます。

3 DVD ► **を押す**

プログラムした順番で再生が始まります。プログラムされたすべてのチャプター/トラックの再生が終わると停止し、プログラム設定画面が表示されます。

本体表示窓でプログラムの内容を確認するには

停止中に►►I(またはI◄◄)を押すと、プログラムの順番を確認することができます。
カーソル▲(または▼)を押して確認することもできます。

プログラム再生のモードを解除するには

停止中に**シフト**を押したまま**再生モード(数字ボタン8)**を押して、本体表示窓のPRGMを消灯させせます。

プログラムを消去するには

ディスクを取り出す、または電源を「**切**」にしたときもすべてのプログラムの内容が消去され、プログラム再生のモードも解除されます。

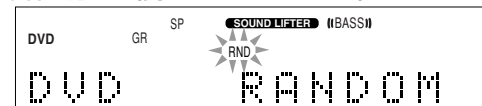
ランダム再生

解説・条件

- ディスクに収録されているチャプター/トラックをランダム(無作為)に再生します。

<停止中に> DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

1 シフト ◯ を押したまま 再生モード ヤ・TUV 8 をくり返し押して本体表示窓にRNDを点灯させる

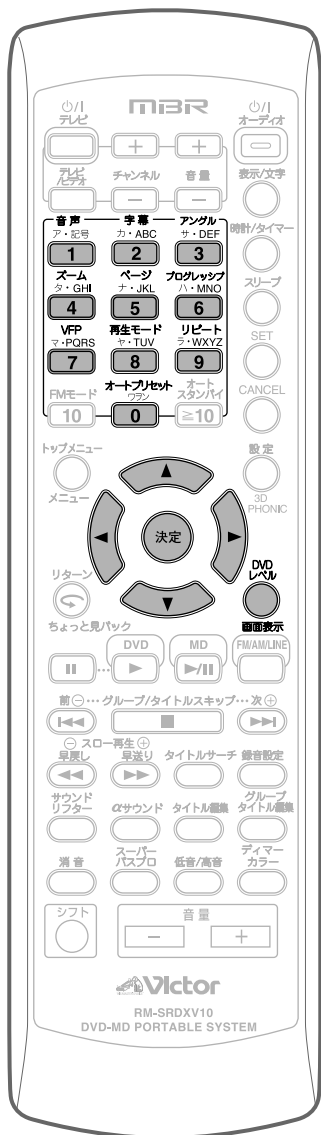
本体表示窓：(例DVDビデオのとき)

2 DVD ► **を押す**

ランダム再生が始まります。
すべてのチャプター/トラックの再生が終了すると、自動停止します。

ランダム再生のモードを解除するには

停止中に**シフト**を押したまま**再生モード(数字ボタンの8)**を押して、本体表示窓のRNDを消灯させます。
ディスクを取り出すか、または電源を「**切**」にしたときもランダム再生のモードが解除されます。

ステータスバーとメニューバー

テレビ画面に、ステータスバーとメニューバーを表示させて、再生中のディスクの情報を確認したり（ステータスバー）、様々な機能を呼び出して使う（メニューバー）ことができます。

ご注意

- MP3/WMAまたはJPEGディスクは、ステータスバー/メニューバーは使えません。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDのメニュー画面が表示されているとき、メニューバーを表示すると、メニュー画面の操作がうまくいかないことがあります。このようなときは、メニューバー表示を消してください。

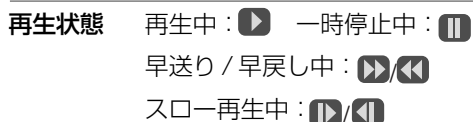
ステータスバーの呼び出しとメニューバーの基本操作[画面表示]

条件 DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD
<再生中または一時停止中に>

1 **DVDレベル（画面表示）を押してステータスバーを呼び出す**

例：DVDビデオのとき

ディスクの種類　再生情報　再生状態
DVD-VIDEO 8.5Mbps TITLE 1 CHAP 3 TOTAL 1:25:58 ▶
転送レート/再生モード表示　時間表示

ディスクの種類	DVD-VIDEO　DVD-AUDIO　CD　VCD　SVCD
再生情報（ディスクによって異なります）	TITLE 1 CHAP 3　GROUP 1 TRACK 3 タイトル　チャプター　グループ　トラック
再生状態	再生中：▶　一時停止中：II 早送り / 早戻し中：▶▶/◀◀ スロー再生中：I▶/◀I

2 **さらにDVDレベル（画面表示）を押してメニューバーを呼び出す**

例：DVDビデオのとき　ステータスバー

DVD-VIDEO 8.5Mbps TITLE 33 CHAP 33 TOTAL 1:25:58 ▶
TIME OFF CHAP. 1/3 1/5 1/3

メニューバー

- メニューバーに表示されるアイコンの数は、ディスクの種類によって異なります。

3 **カーソル▶（または◀）を押してメニューバーのアイコンを選んでから、決定を押し、設定または操作をする**

設定または操作については「メニューバーでの操作」（➡**35** ページ）をご覧ください。

ステータスバー、メニューバーを消すには
メニューバーが表示中に**画面表示**を押します。

メニューバーでの操作

■ TIME 時間表示 アイコン

ステータスバーの時間表示を切換えます。

① **決定をくり返し押す**

押すごとにTOTAL(タイトル/グループの経過時間)、T.REM(タイトル/グループの残り時間)、TIME(チャプター/トラックの経過時間)、REM(チャプター/トラックの残り時間)の順に時間表示が切換わります。

■ OFF リピート アイコン

いろいろなくり返し再生をするときに選びます。

① **カーソル▲(または▼)を押してリピートモードを選び、決定を押す**

リピートモード「A-B」については、右の説明をご覧ください。
他のリピートモードについては、「くり返し再生する[リピート]」(➡**32**ページ)をご覧ください。

■ タイムサーチ アイコン

再生したい場所を時間で指定します。

① **数字ボタンで時間を入力し、決定を押す**

指定した時間から再生が始まります。

時間0:15:23のとき、「**0**」➡「**1**」➡「**5**」➡「**2**」➡「**3**」と押します。
時間2:34:00のとき、「**2**」➡「**3**」➡「**4**」と押します。

- 分、秒の入力は省略することができます。
- 時間の入力を間違えたときは、間違えた数字が消えるまで**カーソル◀**を押してから、入力し直します。

■ CHAP.➡ チャプターサーチ アイコン(DVD Video のみ)
TRACK➡ トラックサーチ アイコン(DVD Audio のみ)

再生したい場所をチャプター番号、トラック番号で指定します。

① **数字ボタンで番号を入力し、決定を押す**

指定した場所から再生が始まります。

番号5のとき、「**5**」を押します。
番号15のとき、「**1**」➡「**5**」と押します。

■ 1/3 音声 アイコン(DVD Video DVD Audio VCD SVCD)
1/5 字幕 アイコン(DVD Video SVCD のみ)
1/3 アングル アイコン(DVD Video のみ)
PAGE 1/12 ページ アイコン(DVD Audio のみ)

① **カーソル▼(または▲)で選んでから、決定を押す**(動作内容は**29**、**30**ページ参照)

くり返し再生する[A-Bリピート]

解説・条件

- 再生中のチャプター(DVDビデオのとき)やトラック(DVDビデオ以外のとき)の指定した範囲をくり返し再生することができます(A-Bリピート)。

DVD Video DVD Audio CD VCD SVCD

<DVDビデオ/DVDオーディオ/オーディオCD:再生中に>
<ビデオCD/スーパービデオCD:PBCオフで再生中に>

準備

メニューバーの OFF (リピートアイコン)を選び、決定 を押す

1 カーソル ▼(または ▲)を押して「A-B」を選ぶ

2 くり返したい部分の頭で、決定 を押す(Aポイント)

メニューバーに A- が表示されます。

3 くり返したい部分の終わりで、決定 を押す(Bポイント)

A ポイントと B ポイント間のリピート再生が始まります。

A-Bリピート再生を解除するには

■(停止)または ▶▶I、I◀◀ を押します。

- **手順1**で「**オフ**」を選び、**決定**を押しても解除されますが、通常の再生は続きます。

お知らせ

- **タイムサーチで時間を入力するとき**
  DVDビデオはディスクの頭からの時間、DVDオーディオは再生中のトラックの頭からの時間を入力します。
  オーディオCD/ビデオCD(PBCオフのとき)/スーパービデオCD(PBCオフのとき)は、停止中はディスクの頭から、再生中はトラックの頭からの時間を入力します。
- ディスクよっては、A-Bリピートができない場合もあります。
- A-Bリピートのとき、タイトルまたはトラックをまたがるA-Bリピート再生はできません。また、プログラム再生中、ランダム再生中は、A-Bリピートはできません。

音楽・映像ファイルの再生

再生できるファイルについて

本機では、CD-R/CD-RW上にある、以下の音楽･映像ファイルを再生することができます。

- **MP3/WMAファイル**

  ファイル転送レート128 kbpsで作成されたMP3ファイル、転送レート64 kbpsで作成されたWMAファイルを推奨します。

  「.MP3」「.mp3」「.WMA」「.wma」の正しい拡張子が付いているファイルが再生できます。

  – タグ情報（ID3-Tag、WMA-Tag）に対応しています。タグ情報はテレビ画面に表示されます。

  – MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。

- **JPEGファイル**

  「.JPEG」「.JPG」「.jpeg」「.jpg」の正しい拡張子が付いていて、デジタルカメラで撮影したJPEG画像ファイルにのみ対応しています。

  （Exif Ver2.1 JPEGベースライン方式、解像度320×240ピクセル～6144×4096ピクセルのJPEG画像）

お知らせ

- ディスクの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。

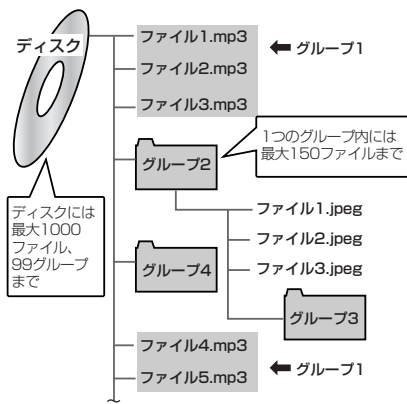
ファイル/フォルダ（グループ）について

本書ではフォルダを「グループ」と呼びます。

本機が1つのCD-R/CD-RWで識別再生できるファイル数とグループ数は、次のようになります。

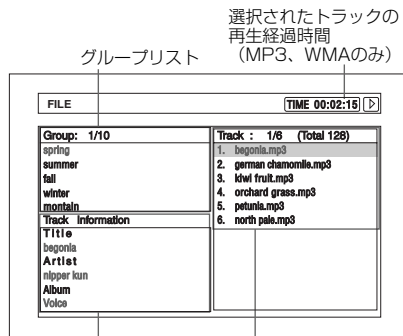
- 最大ファイル数：1000ファイルまで
- 最大グループ数：99グループまで（1 グループ内は最大 150 ファイルまで）

  – 再生できないファイルがある場合、それらもファイルとして数えます。

  – 再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはグループ1として扱われます。

お知らせ

- MP3、WMA、JPEGファイルが一緒に記録されているディスクの場合、「映像設定画面」（➡**66**ページ）の「ファイルタイプ」で設定されたファイルを再生します。

コントロール画面について

MP3、WMA、JPEGファイルを含むCD-R/RWを本機に挿入すると、コントロール画面が表示されます。コントロール画面からファイルを選んで再生します。

- ファイル名やグループ名に半角英数字以外の文字を使用すると、正しく表示されません。
- コントロールパネル画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコン上で表示される順番と異なることがあります。
- 再生できないファイルや、再生できるファイルを含まないグループは、コントロール画面には表示されません。

作成時の注意

ファイル/グループを作成するときは、次のことに注意してください。

- **正しい拡張子を付ける（大文字小文字の混在も可）**

  MP3ファイル　「.MP3」「.mp3」
  WMAファイル　「.WMA」「.wma」
  JPEGファイル　「.JPEG」「.JPG」「.jpeg」「.jpg」

- **ファイル/グループ名には半角英数字のみを使用する**

CD-R/RWディスクを作成するときは、次のことに注意してください。

- **ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする**
- **パケットライト方式（UDFフォーマット）は使わない**
- **必ずファイナライズする**

コントロール画面から再生する

条件 <コントロール画面表示中(➡**36**ページ)に>

1 **を押してグループまたはトラック(ファイル)を選ぶ**

2 **決定 または DVD ► を押す**

再生が始まります。

MP3/WMAファイルのとき:
本体表示窓には、トラック名→タグ情報(Title、Artist、Album)がスクロール表示されます。MP3またはWMA表示が点灯します。

JPEGファイルのとき:
DVD ►を押すと、選んだファイルから次々と再生されるスライドショー再生になります。
決定を押すと、選んだファイルだけ再生されます。

お知らせ

- MP3/WMAファイルの早送り/早戻しはできません。

その他の操作

■ 一時停止する

II を押す

- JPEGファイルのスライドショー再生中は、スライドショーの一時停止になります。

■ 停止する

■ を押す

- JPEGファイルのスライドショー再生中は、スライドショーの停止になります。

■ 頭出しをする

次⊕ ►►I (または 前⊖ I◄◄)を押す

■ グループを選ぶ

シフト を押したまま 次⊕ ►►I (または 前⊖ I◄◄)を押す

■ 数字ボタンでトラック(ファイル)を選ぶ

- 「数字ボタンの使いかた」(➡**39**ページ)をご覧ください。

■ くり返し再生する

<コントロール画面表示中に>

シフト を押したまま リピート ラ・WXYZ 9 を押してリピートモードを選ぶ

MP3/WMAファイルのとき:
トラックのくり返し再生、グループのくり返し再生、全トラックのくり返し再生から選べます(➡**32**ページ)。

- プログラム再生またはランダム再生のときは、プログラム再生またはランダム再生をくり返すリピート再生と、再生中のトラックだけをくり返すリピート再生が選べます。

JPEGファイルのとき:
グループのくり返し再生、ディスクのくり返し再生のモードから選べます。

■ 画面を拡大する[ズーム](JPEGファイルのみ)

<(スライドショー再生を除く)ファイル再生中または一時停止中に>

① **シフト を押したまま ズーム タ・GHI 4 を押して倍率を選ぶ**

「ズーム1」、「ズーム2」、「OFF」から選べます。

② **を押して拡大したい部分を選ぶ**

通常の映像に戻すには
ズームをくり返し押して「OFF」を選びます。

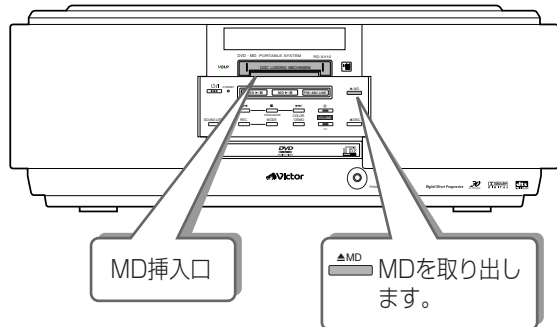
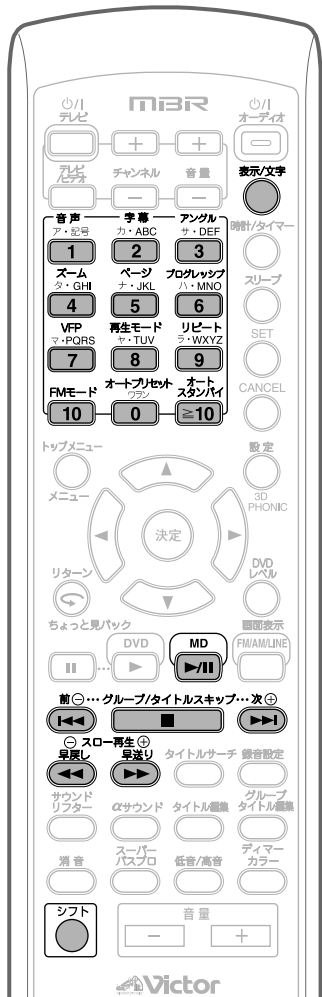
■ プログラム再生、ランダム再生

(MP3/WMAファイルのみ)

- 詳しくは、「プログラム再生」、「ランダム再生」(➡**33**ページ)をご覧ください。

ディスクの再生

MDを聞く

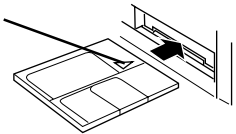
本機のMDプレーヤーは、MD**LP**（「MD**LP**について」参照）で録音された曲の演奏に対応しています。

ご注意

- **電源「切」のときは、MDを入れることができません。無理に押し込むと故障の原因となります。**

1 MD挿入口にMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の向きに正しく差し込みます。MDは途中から引き込まれます。

- 表示窓の **MD** が点灯します。

矢印のある面（ラベル面）を上にする

ソース（音源）がMDのとき：

「MD READING（リーディング）」表示➡ディスクタイトル（ついているとき）**➡総曲数と総グループ数***
➡総曲数と総演奏時間
と表示されます。

- 未録音のMDを入れると**「BLANK（ブランク） DISC（ディスク）」**と表示されます。
- 長いタイトルはスクロール表示されます。

＊ グループ分けされていないときは、表示されません。

2 MD ►/II （本体はMD ►/II）を押す

ソース（音源）がMDになり演奏が始まります。

曲にタイトルがあるときは、曲タイトルが表示されてから、演奏経過時間などが表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

演奏が終わると自動停止します。

MD**LP**について

音声圧縮技術**ATRAC3**により、MDを最長4倍の長さに使えるステレオ長時間録音モードを MD**LP** といいます。LP4モードでは、4倍長ステレオ録音ができ80分MDで最長320分の録音・再生が可能です（LP2モードでは2倍長ステレオ録音・再生）。

MDの再生モード

MDは録音したときの録音モード（SP、LP2、LP4）に従って演奏されます。演奏が始まると、その曲の再生モード（録音モードと一致します）が表示窓に表示されます。

- **SP** ：本機でステレオ録音したMD、またはMD**LP**に対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- **LP2**：2倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき
- **LP4**：4倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき

MDの基本操作

■ 演奏を停止する

① [■] を押す

■ 演奏を一時停止する

① 演奏中に [MD ►/II] を押す

演奏時間表示が点滅します。
- もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

■ 曲の頭出しをする(スキップ)

① 演奏中に [次⊕ ►►I] (または [前⊖ I◄◄])を押す

次の曲(または演奏中の曲)の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。
- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。

■ 曲の早送り/早戻しをする(サーチ)

早送り/早戻し1(リモコンのみ)

① 演奏中に [⊕早送り ►►] (または [⊖早戻し ◄◄])を押す

② 聞きたいところで [MD ►/II] を押す

そこから演奏が始まります。

早送り/早戻し2

① 演奏中に [次⊕ ►►I] (または [前⊖ I◄◄])を押したままにする

② 聞きたいところで指を離す

指を離したところから演奏が始まります。

■ 演奏中にタイトルなどを見るには

① [表示/文字] を押す

曲数と演奏時間、曲タイトル、グループタイトル、現在時刻などが順番に表示されます。
停止中に押すと、総グループ数、ディスクタイトル、現在時刻を見ることができます。

■ MDを取り出す

① 本体の [≜ MD] (MD取り出し)を押す

出てきたMDは抜き取ってから他の操作をしてください。

聞きたい曲を指定する
(ダイレクト演奏)

1 聞きたい曲を数字ボタン([音声 ア・記号 1] ～ [FMモード 10]、[オートスタンバイ ≧10])で選ぶ

停止中は、押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

数字ボタンの使いかた

1～10の番号を選ぶとき

[音声 ア・記号 1] ～ [FMモード 10] のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15を選ぶ: [オートスタンバイ ≧10] ➡ [音声 ア・記号 1] ➡ [ページ ナ・JKL 5]

20を選ぶ: [オートスタンバイ ≧10] ➡ [字幕 カ・ABC 2] ➡ [オートプリセット ワラン 0]

100を選ぶ: [オートスタンバイ ≧10] ➡ [オートスタンバイ ≧10] ➡ [音声 ア・記号 1] ➡ [オートプリセット ワラン 0] ➡ [オートプリセット ワラン 0]

と押します。

MDのリピート演奏

1 [シフト] を押したまま [リピート ラ・WXYZ 9] を押してリピートモードを選ぶ

REPEAT ALL(全曲リピート演奏)	：MDの全曲をくり返し演奏します。
REPEAT TRACK(1曲リピート演奏)	：現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。

リピート演奏のモードを解除する
リピートをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。
- MDを取り出したり電源を「**切**」にすると、リピート演奏のモードは解除されます。

MDのプログラム演奏

解説・条件

- 最大32曲までプログラムして聞くことができます。

<MDが停止中に>

1 シフトを押したまま 再生モード（ヤ・TUV 8）を押して本体表示窓にPRGMを点灯させる

- すでにプログラムされているときは、曲番号、プログラム番号が表示されます。

2 数字ボタンを押してプログラムする

- 数字ボタンの使いかたは**39**ページ「聞きたい曲を指定する（ダイレクト演奏）」を参照してください。
- 番号を間違えたときは、CANCEL（キャンセル）を押します。最後のプログラム内容が消えます。

3 MD ►/II を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- 演奏が終わると自動停止します。

プログラムの内容を確認する

停止中に ►►I（または I◄◄）を押すと、プログラムの曲順を確認することができます。

プログラムを修正する

停止中にCANCEL（キャンセル）を押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。

プログラム演奏のモードを解除する

停止中に**シフト**を押したまま**再生モード（数字ボタンの8）**をくり返し押して、本体表示窓の表示を「PRGM」以外にします。

プログラム内容をすべて削除する

CANCEL（キャンセル）を2秒以上長押しします。
「ALL CLEAR!」が表示され、すべてのプログラム内容が消去されます。
本体の ▲ MD（MD取り出し）を押してMDを取り出す、または電源を「切」にしたときもすべてのプログラムが消去されます。

お知らせ

- MDのいろいろな演奏とリピート演奏を組み合わせたとき：
  プログラム演奏とリピート全曲演奏を組み合わせると、プログラムした全曲をくり返し演奏します。
  ランダム演奏とリピート全曲演奏を組み合わせると、ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
  グループ演奏とリピート全曲演奏を組み合わせると、選んだグループの曲だけをくり返し演奏します。
- プログラム演奏のとき、33曲目をプログラムしようとすると、「MEMORY FULL（メモリーフル）」と表示され、これ以上はプログラムできません。

MDのランダム演奏

解説・条件

- MDに収録されているすべての曲を、本機がランダム(無作為)に選んで演奏します。

<MDが停止中に>

1 シフトを押したまま 再生モード ヤ・TUV 8 をくり返し押して本体表示窓にRNDを点灯させる

MD GR RND BASS
MD RANDOM

2 MD ►/II を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- ►►I を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして次の曲を演奏します。
- I◄◄ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
- 一度演奏した曲は、再び選曲されません。

ランダム演奏のモードを解除する

停止中に**シフト**を押したまま**再生モード(数字ボタンの8)**をくり返し押して、本体表示窓の表示を「**RND**」以外にします。またはMDを取り出すか、電源を「**切**」にします。

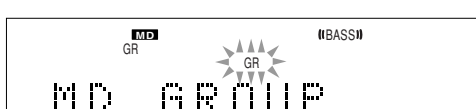
MDのグループ演奏

解説・条件

- 選んだグループに登録されている曲だけを演奏します。

<MDが停止中に>

1 シフトを押したまま 再生モード ヤ・TUV 8 をくり返し押して本体表示窓にGRを点灯させる

MD GR GR BASS
MD GROUP

2 MD ►/II を押す

グループ1の最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- グループが1つもないときは、通常演奏と同じになり、表示窓のGR表示が消灯します。
- グループ1を聞くときは、**手順3**の操作をしないで、このままお聞きください。
  グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

3 シフトを押したまま 次⊕ ►►I (または 前⊖ I◄◄)を押して演奏するグループを選ぶ

選んだグループの最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。
グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

同じグループ内の演奏曲を変える

►►I (または I◄◄)を押します。
他のグループの曲や、グループ登録されていない曲を選ぶことはできません。

演奏グループを変える(グループスキップ)

グループ演奏中に**シフトを押したまま►►I** (または I◄◄)を押します。

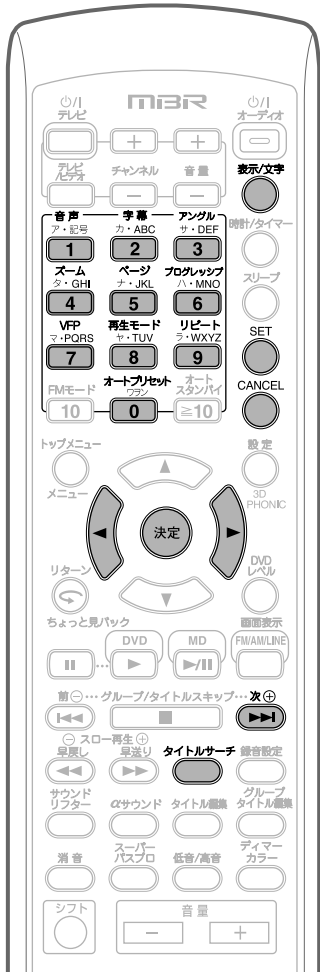
- 通常演奏中に上記の操作をすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

グループ演奏のモードを解除する

停止中に**シフト**を押したまま**再生モード(数字ボタンの8)**をくり返し押して、本体表示窓の表示を「**GR**」以外にします。

- MDを取り出すか、電源を「**切**」にしても、グループ演奏のモードは解除されます。

MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルやグループタイトルを探して（タイトルサーチ）演奏することができます。タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

タイトル入力に使うボタン

表示/文字	：文字の種類を切換えます。
カーソル◄、►	：入力位置を移動します。
数字ボタン(1〜9、0)	：文字を入力します。
CANCEL	：入力した文字を消します。

- 詳しい入力方法は**52**ページの「タイトル入力のしかた」をご覧ください。

お知らせ

- タイトルサーチの場合、空白（スペース）も文字として扱われますが、空白（スペース）の後ろに文字がないときは、無視されます。
- タイトルサーチでは、英大文字と英小文字は区別されます。

条件 <停止中または演奏中に>

1 曲タイトル(TR.T.)を探すとき：

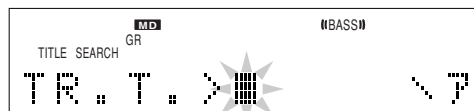
タイトルサーチ を1回押してから、SET を押す

グループタイトル(GR.T.)を探すとき：

タイトルサーチ を2回押してから、SET を押す

表示窓に入力表示が現れます。

- 演奏中のときは停止します。
- ソース（音源）がMD以外のときは、タイトルサーチができません。

例：曲タイトルを探すとき

2 探したいタイトルを入力する

探したいタイトルの最初の1〜5文字まで入力します。

例：「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

- タイトル入力に使うボタンは、左の説明をご覧ください。
- タイトルが記録されていない曲（NO TITLE）を探すときは、何も入力しないで**手順3**に進みます。
- 途中でやめるときは、**タイトルサーチ**を押します。

3 決定 を押す

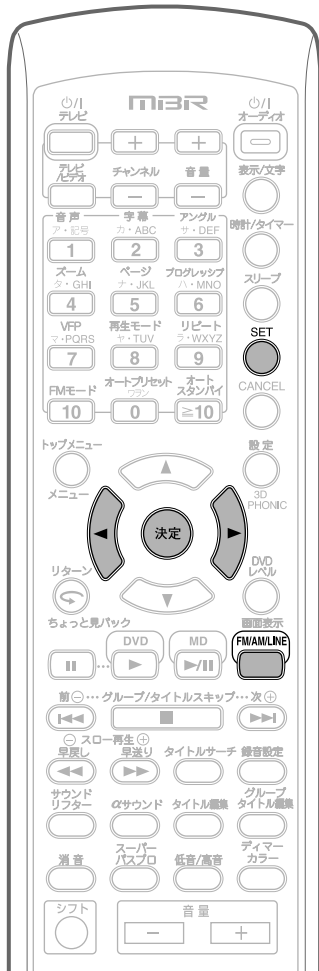
「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると演奏が始まります。
演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。該当する曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、自動停止します。

- 探したいタイトルがMDにないときは、「NOT FOUND」と表示され、自動停止します。

次の曲を探すには

►►| を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

他の機器の音声を聞く

本機背面のLINE端子に接続した他の機器の音声を楽しむことができます。

1 [FM/AM/LINE] をくり返し押して「LINE」を選ぶ

2 他の機器の再生を始める
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 音量などを調節する
（➡18〜19ページ「基本操作」参照）

LINEの音声入力レベルを調節する

解説
- 接続した他の機器からの音声入力レベルを調節することができます。

ソース（音源）がLINEのとき操作します。

1 入力レベルが表示されるまで [SET] を長押ししてレベルを選ぶ

長押しするごとに次のように切換わります。

LEVEL 1: STORED　LINEの音声入力レベルが大きいときに選びます。音声入力が小さくなります。（お買い上げ時の設定）

↕

LEVEL 2: STORED　LINEの音声入力レベルが小さいときに選びます。音声入力が大きくなります。

- レベルの表示は、約2秒で消えます。

他の機器のソース（音源）名表示を変える

条件　ソース（音源）がLINEのとき操作します。

1 「NAME CHANGE」が点滅表示されるまで [決定] を長押し（約2秒間）する

2 [SET] を押す

ソース（音源）名が点滅表示されます。
- 初めてソース（音源）名を変えるときは、「LINE」が点滅表示されます。

3 カーソル [►]（または [◄]）を押して、ソース（音源）名を選ぶ
- 押すごとに次のように変わります。

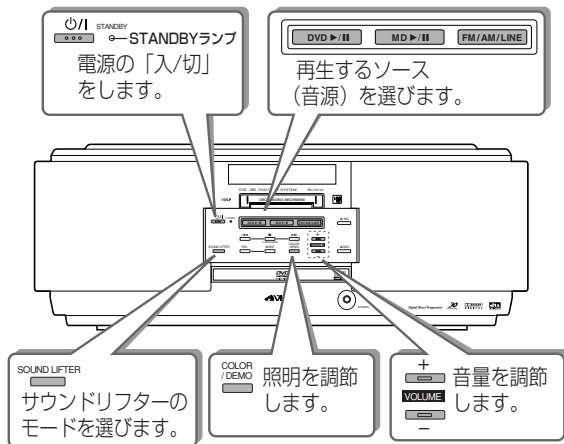
TAPE ↔ DBS ↔ VTR
↕　　　　　　↕
LINE ↔ GAME ↔ TV

4 [決定] を押す

ソース（音源）名が変更されます。

本体だけでできる再生操作

ここでは、本体だけでできる再生操作を簡単に説明します。

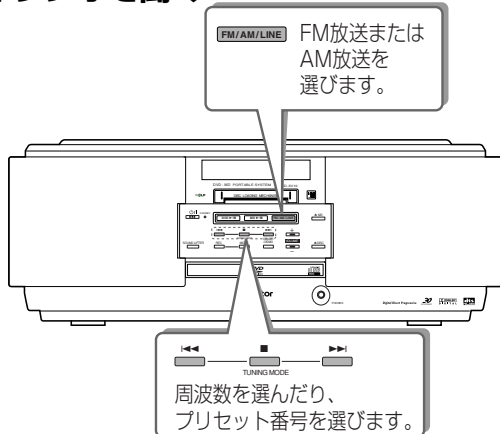
■ 基本操作

照明の調節のしかた

① COLOR/DEMO を押す
照明調節表示が表示されます。

② VOLUME＋または－を押して、照明を調節する

■ ラジオを聞く

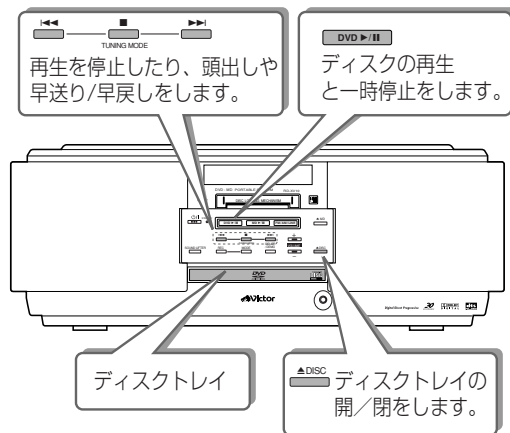
FM/AM/LINE　FM放送またはAM放送を選びます。

TUNING MODE　周波数を選んだり、プリセット番号を選びます。

放送局を受信する

① FM/AM/LINEを押して、FM放送またはAM放送を選ぶを押す

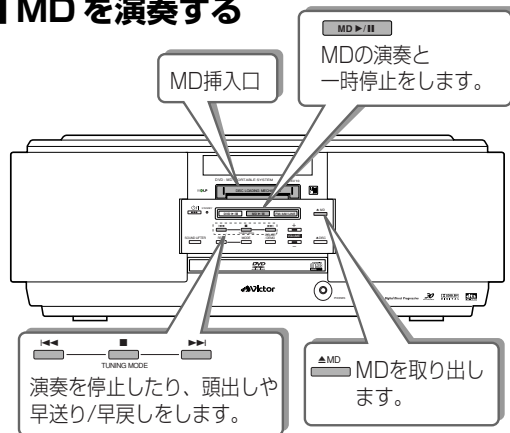
② ■ TUNING MODEを押して、「MANUAL TUNING」または「PRESET TUNING」を選ぶ

③「MANUAL TUNING」を選んだとき：
►►I または I◄◄を押して周波数を選ぶ
長押しするとオート選局になります。
「PRESET TUNING」を選んだとき：
►►I または I◄◄を押してプリセット番号を選ぶ
プリセット選局ができます。

■ ディスクを再生する

頭出しと早送り / 早戻し

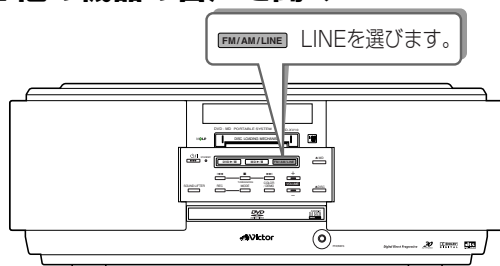
►►I または I◄◄を「ポン」と押すと頭出しになります。

►►I または I◄◄を押したままにすると早送り/早戻しになります。

■ MD を演奏する

頭出しと早送り / 早戻し

►►I または I◄◄を「ポン」と押すと頭出しになります。

►►I または I◄◄を押したままにすると早送り/早戻しになります。

■ 他の機器の音声を聞く

MDに録音する前に

ステレオ長時間録音(MDLP)

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(MD**LP**)に対応しています。
1枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。MDの録音残量は録音モードに応じて変わります。

SP　：**標準のステレオ録音**
(MD80で最大80分の録音)
LP2 ：**2倍長時間録音(ステレオ)**
(MD80で最大160分の録音)
LP4 ：**4倍長時間録音(ステレオ)**
(MD80で最大320分の録音)
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPを選んでください。
- LP2またはLP4モードで録音したMDを、SPモードで録音することもできます。
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。

ご注意

- **LP2またはLP4で録音された曲は、「MDLP」の再生に対応した機器以外では再生できません。曲タイトルの始めに「LP: 」と表示され、無音状態になります。「MDLP」に対応した機器で再生すると、「LP:」は表示されません。**
「LP: 」はつけない設定にすることもできます。
- **MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。**

トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

- ディスクからの音声を録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。ただし、DVDビデオ/DVDオーディオの場合、正しくつかないことがあります。
- ラジオ、LINEの音声を録音するときは、トラックマークをつけたいところでリモコンのSET(セット)を押してトラックマークをつける**マニュアルマーク方式**(お買い上げ時の設定)、5分間隔で自動的にトラックマークがつく**タイムマーク方式**、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつく**オートマーク方式**があります。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は、必ず等速で試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。
- オーディオCD/ビデオCD/スーパービデオCDの音声は、デジタル信号のまま録音されます。
CD-R/RCD-Wの音声は、「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音できません。このようなときは、「**CD-R/CD-RWの録音**(**➡47**ページ参照)」をご覧になり、アナログ録音してください。
DVDビデオ/DVDオーディオ、MP3/WMAディスク、ラジオ、LINEの音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。
新たに録音し直すときは、ALL ERASE (**➡56**ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(**➡50〜52**ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量·音質を変えても録音される音声には影響ありません。

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

MDへの倍速録音では、著作権保護のため倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(**➡70**ページ参照)。

- この規定により、オーディオCDから一度5倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を倍速で録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

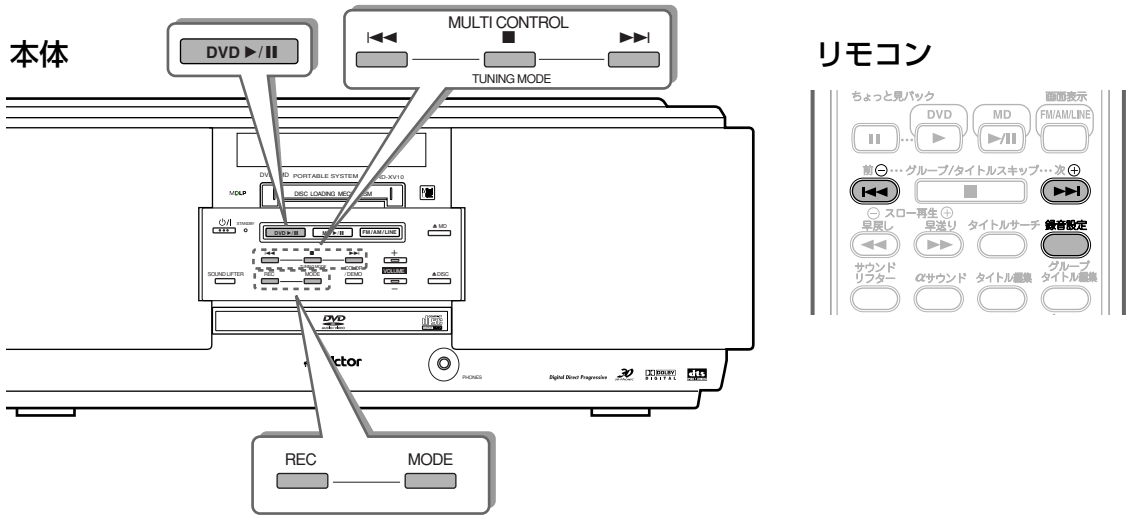
ご注意

- **MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING(ライティング)」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。**

MDカートリッジのラベルについて

- **MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。**

ディスクの音声を録音する

録音レベルは自動調節されます。

基本操作

1 録音するディスクを入れ、DVD ▶/II を押してから ■(TUNING MODE) を押す

- DVDビデオ(音楽ソフトなど)の場合
  タイトル/チャプターを再生し、一時停止してから ⏮ (または**シフト**を押したまま⏮)を押して曲の先頭に戻します。
  - ディスクによっては、正しく録音されないことがあります。

2 MODE と ⏭ (または ⏮)を使って、録音の設定をする

MODE を押すと	⏮、⏭を押して
録音モードの設定	SP、LP2、LP4から選びます。
録音スピードの設定	「x1」(等速)または「x5」(5倍速)を選びます。
グループ録音の設定	「ON」(グループ録音する)または「OFF」(グループ録音しない)を選びます。
LP:の設定	「ON」(LP:つける)または「OFF」(LP:つけない)を選びます(➡**45**ページ参照)。
設定終了	

- 現在の設定が、点滅表示します。
- リモコンの**録音設定**と⏭(または⏮)でも同様の操作ができます。

3 REC を押す

ディスクとMDの録音が始まり、表示窓の **REC** が点灯します。

ディスクの再生が終わると、「WRITING(ライティング)」と表示され録音も自動的に終了します。
- MDの録音残量時間がなくなったときも、自動停止します。
- ビデオCDの場合は、PBCを「**切**」(➡**25**ページ参照)にして録音します。

- 録音を途中で停止するときは、■(停止)を押します。
- **録音スピードの「x5」(5倍速)は、オーディオCDの音声を録音するときのみ有効です。**他の種類のディスクの音声を録音するときは、自動で「x1」(等速)に変更してから録音されます。ディスクによっては「x1 REC ONLY」のあと「CANNOT REC」が表示されます。

MD録音状態表示

大切なお知らせ

ディスクを再生中に**録音**(本体は**REC**)を押すと、**1トラック(曲)録音**になり、再生中のトラック(曲)の録音が終了すると自動停止します。

ディスクの途中から録音するつもりで上記の操作をすると、再生中以降のトラック(曲)は録音されません。

このようなときは、ディスクの停止中に録音を開始するトラック(曲)を選んでから**録音**(本体は**REC**)を押します。

1トラック録音
(再生中のトラックだけ録音する)

1 録音したいトラックの再生中(または一時停止中)に REC を押す

再生中のトラックの頭に戻り、そのトラックだけを録音してからMDとディスクが自動停止します。

- DVDビデオでは、1トラック録音はできません。DVDビデオを再生中に**録音**を押すと、その場所からの録音になります。

プログラム録音

1 録音するディスクを入れ、プログラム再生の操作をする

(33ページ「プログラム再生」参照)

- **DVD ►**は押さないで停止状態のままにしておきます。
- ディスクをプログラム録音するとき、録音スピードは「x1」(等速)を選んでください。「x5」(5倍速)を選んで録音を開始すると「x1 REC ONLY」のあと「CANNOT REC」と表示され、録音されません。

2 REC を押す

録音が始まります。
プログラム再生が終わると、「WRITING」と表示され録音も自動的に終了します。

CD-R/CD-RWの録音

CD-R/CD-RWの音声をMDに録音するとき、RECを押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音スピードを「x1」(等速)にし、RECを4秒以上押します。「ANALOG(アナログ) REC？」が表示されている間にもう一度RECを押して、アナログ録音してください。

指定したグループまたはトラック番号以降の録音

ディスクの停止中に指定します。
- REC を押す前に操作してください。

オーディオCD/ビデオCDのとき
►►| または |◄◄ を押してトラックを指定します。指定したトラック番号以降のトラックを録音します。

DVDオーディオ/MP3/WMAディスクのとき
シフトを押したまま►►| または |◄◄ を押してグループを指定します。指定したグループの最初のトラック以降のトラックを録音します。
►►| または |◄◄ でトラックを指定します。指定したトラック番号以降のトラックを録音します。

録音中の表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、MDの録音残量時間→MDの曲番号→グループ番号→ソース(音源)表示→現在時刻と曜日→MDの録音残量時間→…に切換わります。

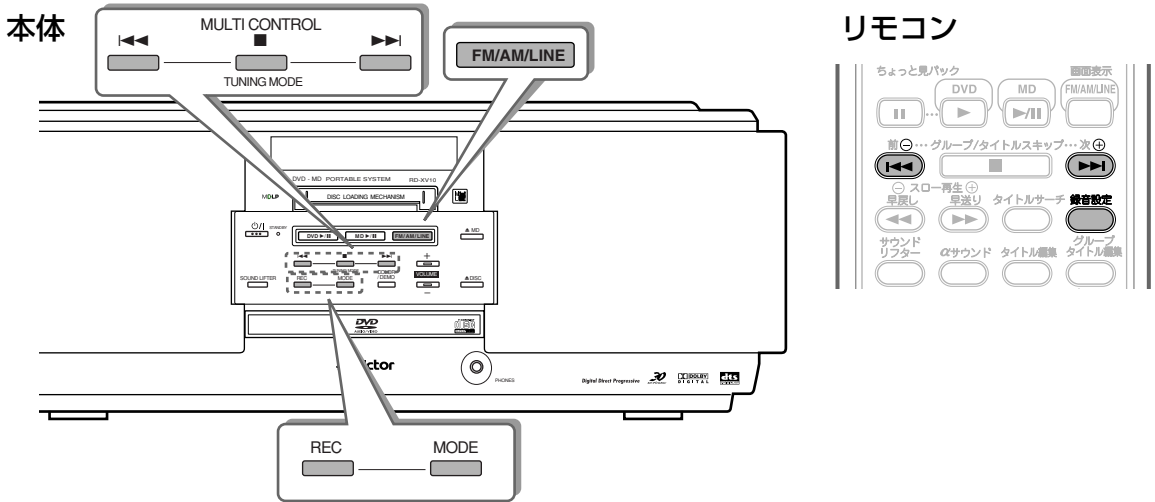
お知らせ

- オーディオCDの5倍速録音中は、音声を聞くことはできません。
- オーディオCDの5倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、オーディオCDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。
  このようなときは、等速で録音し直してください。
- 著作権保護のため、オーディオCDから一度5倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音はできません(**HCMS** **➡45**ページ参照)。
- DVDビデオを録音中は、字幕言語、音声言語、アングル、ズームなどのDVDの操作、3D-PHONICモードの切換えはできません。
- 録音中は、録音の音が変わってしまうため、3D-PHONICは無効になります。

ラジオ、他の機器の音声を録音する

録音レベルは自動調節されます。

本体

リモコン

1 ラジオ放送を録音するとき:

FM/AM/LINE を押してFMまたはAMを選んでから録音したい放送局を選局する

他の機器の音声を録音するとき:

FM/AM/LINE を押してLINEを選ぶ

2 MODE と ▶▶I（または I◀◀）を使って、録音の設定をする

MODE を押すと	I◀◀ 、▶▶I を押して
録音モードの設定	SP、LP2、LP4から選びます。
トラックマークのつけかたの設定	MANUAL MARK（マニュアル マーク）、TIME MARK（タイム マーク）、AUTO MARK（オート マーク）から選びます。それぞれの方式については、「トラックマークをつける」（➡49ページ）をご覧ください。
グループ録音の設定	「ON」（グループ録音する）または「OFF」（グループ録音しない）を選びます。
LP：の設定	「ON」（LP:つける）または「OFF」（LP:つけない）を選びます（➡45ページ参照）。
設定終了	

- 現在の設定が、点滅表示します。
- リモコンの**録音設定**と▶▶I（またはI◀◀）でも同様の操作ができます。

3 REC を押す

ラジオ放送を録音するとき:

表示窓の **REC** が点灯し、録音が始まります。

他の機器の音声を録音するとき:

表示窓の **REC** が点灯し、録音が始まります。

「LINE>（録音残量時間）」が表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始める

4 録音をやめるときは ■ TUNING MODE を押す

「WRITING」と表示され録音が終了します。

- MDの録音残量時間がなくなったときも、自動停止します。

トラックマークをつけるときは

「トラックマークをつける」（➡**49**ページ）をご覧ください。

ご注意

- 他の機器の音声を録音するとき、接続する外部機器や再生する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。

トラックマークをつける

マニュアルマーク方式(MANUAL MARK)のとき:
録音中に曲の変わり目などでSETを押してトラックマークをつけます(お買い上げ時の設定)。

タイムマーク方式(TIME MARK)のとき
5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。SETを押してもトラックマークをつけることはできません。

オートマーク方式(AUTO MARK)のとき
録音中に無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
SETを押してトラックマークをつけることもできます。

録音が終わったあとでもMDの編集機能(「曲を分ける(DIVIDE)」➡ **54**ページ参照)でトラックマークをつけることができます。MD全体を1曲として録音したときなど、あとから「分ける・一部を消す」などの編集機能をお使いください。

タイトルをつける

タイトル編集する前に

- タイトルは、**カタカナ**、**英大文字/英小文字**、**記号**、**数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

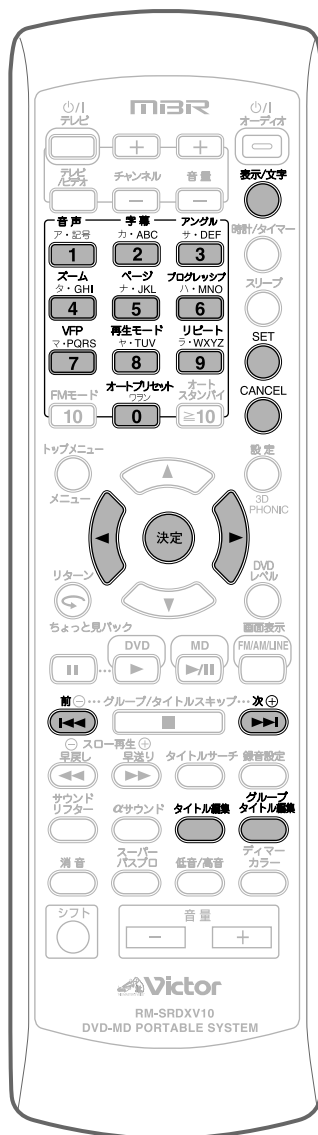
LP:はつけない設定にすることもできます(➡**46**ページ参照)。

例:
- ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

タイトルリザーブ機能

- オーディオCDの録音中(1トラック録音は除く)は、16曲分のタイトルを前もって入力できます。
  - 録音が終了するまでに**決定**が押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
  - 録音する曲より多くのタイトルを入力すると、余ったタイトルは取り消されます。
  - グループ録音中は、そのグループのタイトルをつけることができます。

タイトルをつけるときのご注意

- タイトル入力の操作をしたあとで**⏏ MD**(MD取り出し)を押すと、MDが出てくる前に「WRITING(ライティング)」が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 誤消去防止状態のMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDがプログラム演奏中、ランダム演奏中、グループ演奏中は、**タイトル編集**または**グループタイトル編集**を押してもタイトル入力はできません。
- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

1 タイトルをつけるMDを入れる

• 誤消去防止つまみを閉じておきます。（➡**72**ページ参照）

2 タイトル編集 または グループタイトル編集 を押してタイトル編集モードに切り換える

■ ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

タイトル編集 を押す

タイトル編集表示になります。

DISC TITTLE?

• 曲タイトルを編集するときは、次⊕（または前⊖）を押して曲番号を選びます。
• 演奏中は、演奏中の曲番号が表示されます。ディスクタイトルを編集するときは、前⊖をくり返し押して「DISC TITLE?」を選びます。

■ グループタイトルを編集するとき

グループタイトル編集 を押す

グループタイトル編集表示になります。

GR. 1 TITTLE?

• 次⊕（または前⊖）を押してグループ番号を選びます。
• グループ分けされていないときは、「FORM GR」表示になります。

3 SET を押す

タイトル入力表示に切換わります。
• タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

入力位置（点滅）

入力文字種
現在選ばれている文字種（例はカタカナ）が表示されます。
ア：カタカナ
A：英文字・記号
a：英子文字・記号
1：数字

4 タイトルを入力する

• タイトル入力のしかたは、「タイトル入力のしかた」（➡**52**ページ）をご覧ください。

タイトル入力に使うボタン

表示/文字	：文字の種類を切換えます。
カーソル◄、►	：入力位置を移動します。
数字ボタン(1~9、0)	：文字を入力します。
CANCEL（キャンセル）	：入力した文字を消します。

5 決定 を押してタイトルを登録する

表示窓に「EDITING（エディティング）」が表示され、タイトルが登録されます。
• 次のタイトル編集表示が現われます。

終了したいとき → 6へ

続けて別のタイトルもつけるとき → SET を押してから手順4へ

6 CANCEL を押してタイトル入力を終了する

通常のモードに戻ります。
• **タイトル編集**または**グループタイトル編集**をくり返し押して、通常のモードに戻すこともできます。

7 本体の ▲MD（MD取り出し）を押してMDを取り出す

• MDが出てくる前に「WRITING（ライティング）」表示が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

タイトル入力を途中でやめる
• 操作の途中で**タイトル編集**または**グループタイトル編集**を押します。タイトル入力をいつでも解除できます。

タイトル入力のしかた

■ 入力文字を変更するときは

① 表示/文字 ◯ を押す

押すごとに文字の種類が切換わります。
- 入力したい文字は右の「文字配列表」で確認してください。

■ タイトルを入力する

① **数字ボタンを使って、1文字ずつ入力する**

1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返し押して表示させます。

例：「ス」を入力するには

1）**表示/文字 ◯ を押して、「ア」を表示させる**

入力文字が「カタカナ」になります。

2）**アングル サ・DEF 3 をくり返し押して「ス」を表示させる**

押すごとに「**シ➡ス➡セ➡ソ➡サ…**」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

文字の入力位置を移動させるには

カーソル ▶（または ◀）を押します。右（または左）に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させて CANCEL（キャンセル）を押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に1文字分つまります。

「空白」をつくるには

カーソル ▶ で入力位置を右に移動させるか、文字種を[A]または[a]にして「記号」からスペース(空白)を選びます。
- 「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するとき**は、**カーソル ▶** を押して、文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号＊	記号＊	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

<table>
<tr><td colspan="3">□スペース(空白)</td><td>!</td><td>”</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>’</td><td>(</td><td>)</td><td>＊</td><td>+</td></tr>
<tr><td>,</td><td>−</td><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td><td>></td><td>?</td><td>@</td><td>_</td><td>`</td><td></td></tr>
</table>

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入力することができません。

MDを編集する前に

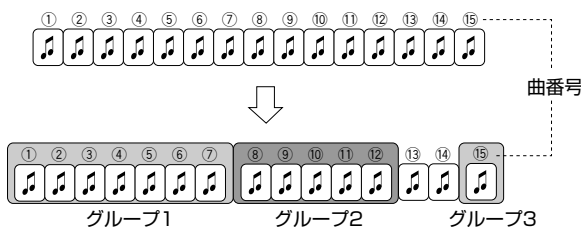
編集をする前に

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集できません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDがプログラム演奏中、ランダム演奏中、グループ演奏中は、**タイトル編集**または**グループタイトル編集**を押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING（エディティング）」が表示されたあとに「WRITING（ライティング）」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で**タイトル編集**または**グループタイトル編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

MDの曲(トラック)編集

- MDの曲（トラック）編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を消す」、「全曲を消す」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。

MDのグループ機能とは

MDに収録されている曲（トラック）を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、1曲（トラック）でも設定できます。また、連続する曲（トラック）をグループとして登録することができます。

MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**　：1つのグループの曲（トラック）だけを演奏します(**➡41**ページ参照)。
  リピート演奏もできます。
- **グループ録音**　：録音と同時に、複数の曲（トラック）をまとめて1つのグループとして登録できます(**➡46**ページ参照)。
- **グループタイトル**：ディスクや曲（トラック）と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(**➡51**ページ参照)。
- **グループ編集**　：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集には次の8つの機能があります。

これらの機能を組み合わせて使うこともできます。

- **「グループをつくる(FORM GROUP)」**
  グループに属していない曲（トラック）から新しいグループを作ります
- **「グループに登録する(ENTRY GROUP)」**
  曲をすでにあるグループに登録します。
- **「グループを分ける(DIVIDE GR.)」**
  1つのグループを2つのグループに分けます。
- **「グループをつなげる(JOIN GROUP)」**
  2つのグループをまとめて1つのグループにします。
- **「グループを移動する(MOVE GROUP)」**
  グループの移動をします。
- **「グループを解消する(UNGROUP)」**
  1つのグループを解消します。曲（トラック）は消されません。
- **「全グループを解消する(UNGROUP ALL)」**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲（トラック）は消されません。
- **「グループと曲を消す(ERASE GROUP)」**
  グループと共にそのグループ内のすべての曲（トラック）を消します。

曲を編集する

曲を分ける(DIVIDE)

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 **タイトル編集をくり返し押して「DIVIDE?」を選んでから、SETを押す**

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まり、演奏中は演奏が継続します。

2 **次⊕(または前⊖)を押して編集したい曲を選ぶ**

- 演奏中に ▶▶I を押したままにすると早送りできます。分けたいところを探すときに便利です。

3 **曲を分けたいところでSETを押す**

押したところから3秒間がくり返し演奏されます。

POSI.

- 希望どおりに分けられたときは、**手順5**に進みます。

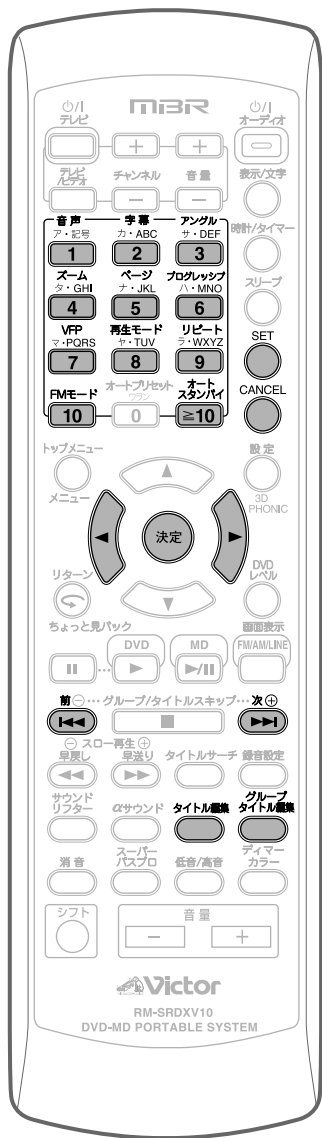
4 **►(または◄)を押して微調節する**

±128ポジション(SP:標準モードで約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。

5 **SETを押す**

「**YES?→ケッテイ**」が表示されます。

6 **決定を押す**

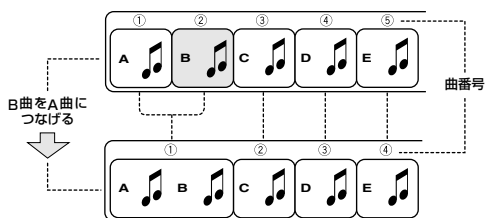
「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

- 操作の途中でCANCELを押すと、前の手順に戻ります。
- 操作の途中で**タイトル編集**または**グループタイトル編集**を押すと、編集操作を中止することができます。
- 曲を分ける(DIVIDE)とき、254曲録音してあるMDなどは、曲を分ける操作ができません。
- 曲番号を選ぶとき、**数字ボタン**または**カーソル►**(または◄)を押して選ぶこともできます。

曲をつなげる(JOIN)

となり合う2曲をつなげることができます。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 タイトル編集 をくり返し押して「JOIN?」を選んでから、SET を押す

2 次⊕ (または 前⊖)を押してつなぎたい2つの曲を選ぶ

表示は「1+2?」「2+3?」のように次々と変わっていきます。

3 SET を押す

「YES?→ケッテイ」が表示されます。

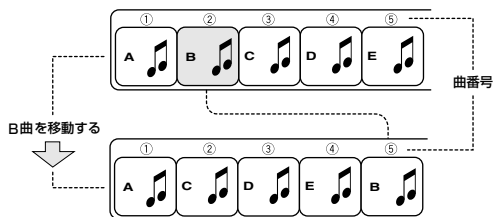
4 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

つなげることができない曲またはMD

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。

曲を移動する(MOVE)

編集するＭＤをMD挿入口に入れておきます。

1 タイトル編集 をくり返し押して「MOVE?」を選んでから、SET を押す

2 次⊕ (または 前⊖)を押して移動したい曲番号を選び、SET を押す

表示は「 ← 2 ?」「 ← 3 ?」のように変わります。

3 次⊕ (または 前⊖)を押して移動先の曲番号を選び、SET を押す

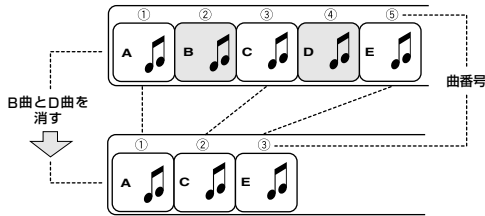
- 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- SETを押すと「YES?→ケッテイ」が表示されます。

4 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

曲を編集する（つづき）

曲を消す(ERASE)

指定した曲を消します。最大15曲まで1回の操作で消すことができます。

ご注意

- 一度消去した曲は、戻すことができません。よく確認した上で消してください。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 タイトル編集 をくり返し押して「ERASE?」を選んでから、SET を押す

2 次⊕（または 前⊖）を押して消したい曲番号を選び、SET を押す

曲番号の前に「 」がつきます。「 」のついている曲が消えます。

- 間違えたときは、CANCELを押して「 」を消します。
- 手順2の操作をくり返して15曲まで選ぶことができます。
- 数字ボタンでも曲を選ぶことができます（➡39ページ参照）

3 決定 を押す

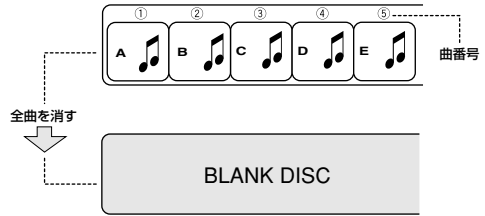
「YES?→ケッテイ」が表示されます。

4 決定 を押す

指定した曲が消えます。
「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を消す(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて消してブランクディスクにします。

ご注意

- 一度消去した曲は、戻すことができません。よく確認した上で消してください。

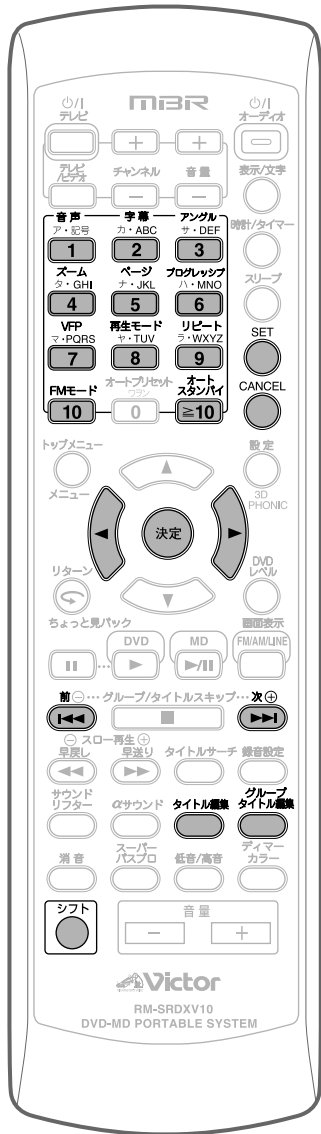
編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

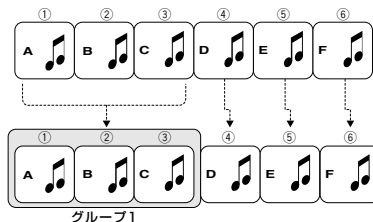
1 タイトル編集 または グループタイトル編集 をくり返し押して「ALL ERASE?」を選んでから、SET を押す

「YES?→ケッテイ」が表示されます。

2 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、その後、全曲が消えて「BLANK DISC」と表示されます。

MDをグループ編集する

グループをつくる(FORM GROUP)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 **タイトル編集 または グループタイトル編集 をくり返し押して「FORM GROUP?」を選んでから、SET を押す**

2 **次⊕ (または 前⊖)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す**

TR 1→TR ?

3 **次⊕ (または 前⊖)を押して新しいグループの最後の曲を選ぶ**

TR 1→TR 3?

4 **SET を押す**

「YES?→ケッテイ」が表示されます。

5 **決定 を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

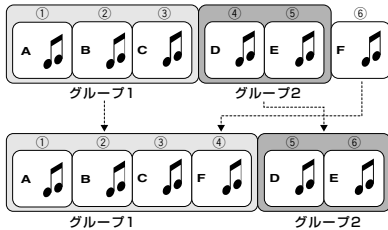
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは、「CANNOT FORM」と表示され、次の手順に進めません。

お知らせ

- 操作の途中でCANCELを押すと、前の手順に戻ります。
- 操作の途中で**タイトル編集**または**グループタイトル編集**を押すと、編集操作を中止することができます。
- 曲番号を選ぶとき、**数字ボタン**または**カーソル▶**(または◀)を押して選ぶこともできます。

MDをグループ編集する（つづき）

グループに登録する(ENTRY GROUP)

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として登録します。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 グループ/タイトル編集 をくり返し押して「ENTRY GROUP?」を選んでから、SET を押す

2 次⊕（または 前⊖）を押してグループに登録する曲を選ぶ

TR. 6?

3 SET を押す

GROUP --?

4 シフト を押したまま 次⊕（または 前⊖）を押して登録先のグループを選ぶ

選んだグループ番号が点滅表示されます。

5 SET を押す

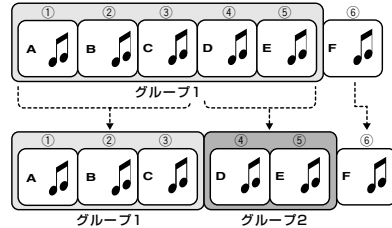
「YES?→ケッテイ」が表示されます。

6 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY」と表示され、次の手順に進めません。

グループを分ける(DIVIDE GR.)

1つのグループを2つに分けます。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 グループ/タイトル編集 をくり返し押して「DIVIDE GR.?」を選んでから、SET を押す

2 シフト を押したまま 次⊕（または 前⊖）を押して分けるグループを選んでから、次⊕（または 前⊖）を押してどの曲から分けるかを選ぶ

- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。

3 SET を押す

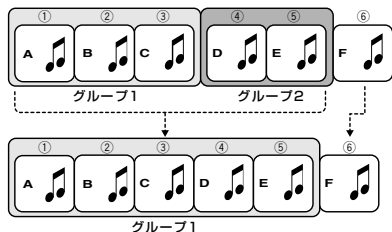
「YES?→ケッテイ」が表示されます。

4 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

グループをつなげる(JOIN GROUP)

となりあう2つのグループを1つのグループにします。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 グループタイトル編集 をくり返し押して「JOIN GROUP?」を選んでから、SET を押す

2 シフト を押したまま 次⊕ (または 前⊖) を押してつなげるグループの組を選ぶ

GR. 1+GR. 2?

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。

3 SET を押す

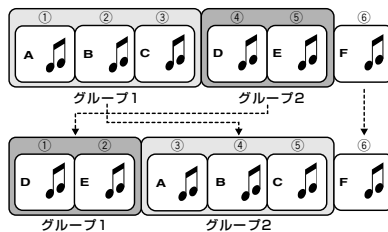
「YES?→ケッテイ」が表示されます。

4 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。
- つなげるグループの間にグループ登録されていない曲があると、「CANNOT JOIN」と表示され、前の手順に戻ります。

グループを移動する(MOVE GROUP)

1つのグループを指定したところに移動させます。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

1 グループタイトル編集 をくり返し押して「MOVE GROUP?」を選んでから、SET を押す

2 シフト を押したまま 次⊕ (または 前⊖) を押して移動させるグループを選ぶ

←GR. 2?

3 SET を押す

4 シフト を押したまま 次⊕ (または 前⊖) を押して移動先を選ぶ

GR. 1←GR. 2?

5 SET を押す

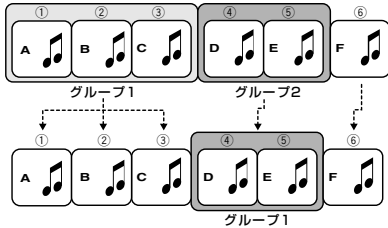
「YES?→ケッテイ」が表示されます。

6 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

MDをグループ編集する（つづき）

グループを解消する (UNGROUP/UNGROUP ALL)

指定したグループまたは全グループを解消します。
解消されたグループ内の曲は消されません。

編集するMDをMD挿入口に入れておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 グループ/タイトル編集 をくり返し押して「UNGROUP?」を選んでから、SET を押す

2 シフト を押したまま 次⊕ (または 前⊖) を押して解消するグループを選び、SET を押す

「YES?→ケッテイ」が表示されます。

3 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを一度に解消する(UNGROUP ALL)

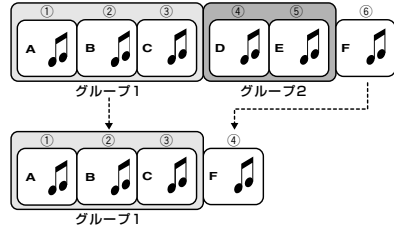
1 グループ/タイトル編集 をくり返し押して「UNGROUP ALL?」を選んでから、SET を押す

「YES?→ケッテイ」が表示されます。

2 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

グループと曲を消す(ERASE GROUP)

グループとそのグループ内の曲を消します。

ご注意

- 一度消去した曲は、戻すことができません。よく確認した上で消してください。

編集するMDをMD挿入口に入ておきます。

1 グループ/タイトル編集 をくり返し押して「ERASE GROUP?」を選んでから、SET を押す

2 シフト を押したまま 次⊕ (または 前⊖) を押して消すグループを選ぶ

GR. 2 ERASE?

3 SET を押す

「YES?→ケッテイ」が表示されます。

4 決定 を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

タイマーを使う

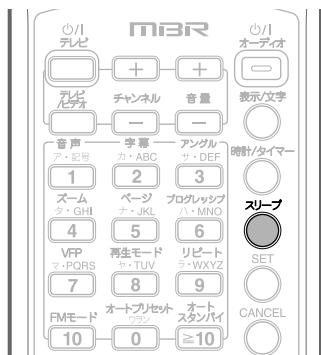
タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡17ページ参照)。

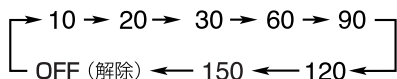
- 時計合わせをしていないと、タイマーは働きません。

おやすみタイマー

音楽やラジオ放送を聞きながら眠りたいときに使います。

電源を「**切**」にするまでの時間を設定し、おやすみください。設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

1 スリープ ◯ **を押す**

表示窓のSLEEP表示が点滅し、
「SLEEP 10」と表示されます。
- 押すごとに、スリープ時間は次のように選べます。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → OFF（解除）→ 10

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース（音源）の表示に戻り、SLEEP表示が点灯になります。
- おやすみタイマーを設定すると、ディマー機能のDIMMER 2の状態(➡**19**ページ参照)になり、表示窓が暗くなります。

設定したスリープ時間を変更する

- おやすみタイマー設定後に**スリープ**を1回押すと、電源が「**切**」になるまでの**残り時間**が表示されます。
- 設定を変更するときは、**スリープ**をくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

おやすみタイマーを取り消す

- スリープ時間の表示が「OFF」になるまで、**スリープ**をくり返し押します。おやすみタイマーが解除されます。
- 電源を「**切**」にしたときも、おやすみタイマーは解除されます。

おやすみタイマーでおやすみになり、プログラムタイマーで目覚めるには

1. プログラムタイマーでタイマー再生の設定をする（➡**62**～**63**ページ参照）
2. 聞きたいソースを演奏する
3. **スリープ**を押してスリープ時間を設定する
   - 設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、プログラムタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

タイマーを使う（つづき）

TIMER 1、TIMER 2、TIMER 3またはTIMER 4に「タイマー再生」または「タイマー録音」の設定ができます。
異なる時間帯に複数のプログラムタイマーを動作させることができます。
タイマー再生が動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります（**ウェイクアップボリューム機能**）。

- **プログラムタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください（➡17ページ参照）。**

ご注意

- **プログラムタイマーで使用する他の機器は、タイマー機能のついた機器をご使用ください。**
- **電源「入」の状態では、プログラムタイマーが動作しません。**
- **DVDビデオ/DVDオーディオやビデオCDの場合、メニュー画面が表示されると待機状態になるものがあります。このようなディスクをタイマーで使用すると、連続して音声や映像が再生されません。ご注意ください。**

お知らせ

- ラジオをソース（音源）に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておきます（➡**23**ページ「オートプリセット（放送局を自動で記憶）」、「マニュアルプリセット（放送局を手動で記憶）」参照）。
- プログラムタイマーに設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- ディスクやMDのプログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏はできません。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、プログラムタイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計と曜日とプログラムタイマーをもう一度設定し直してください。
- プログラムタイマーを設定してるとき、CANCELを押すと、前の設定に戻れます。

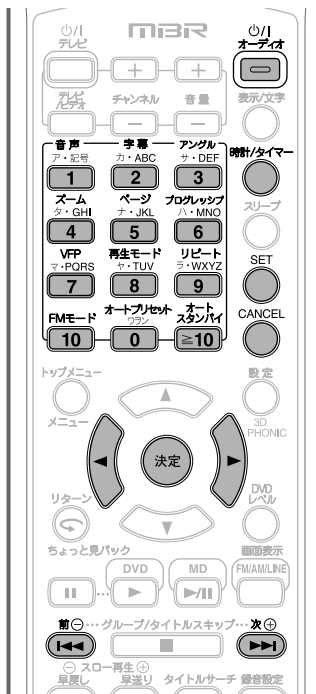
録音または再生するソース（音源）の準備をする

タイマー録音するとき

MD デッキに録音用 MD を入れる

タイマー再生するとき

ディスクを聞く	ディスクを入れる（➡**24** ページ）
MDを聞く	MD を入れる（➡**38** ページ）
ラジオを聞く	放送局をプリセットしておく（➡**23** ページ）
他の機器の音声を聞く	他の機器のタイマー設定をする（➡**43** ページ）

プログラムタイマーの設定

1 時計/タイマー **を押して「TIMER1」、「TIMER2」、「TIMER3」または「TIMER 4」のいずれかを選び、** SET **を押す**

2 次⊕ **（または** 前⊖ **）と** SET **を使って、タイマーの設定をする**

- **カーソル▶**（または◀）で設定内容を選ぶこともできます。
- 設定方法は、**63**ページをご覧ください。

3 **電源「入」でプログラムタイマーの設定をしているときは、電源を「切」にする**

電源「**入**」の状態では、プログラムタイマーは動作しません。

手順2での設定

① 開始時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡「分」の設定 ➡ SET

② 終了時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡「分」の設定 ➡ SET

③ ONCEとWEEKLYの設定

「ONCE(ワンス)」または「WEEKLY(ウィークリー)」を選ぶ ➡ SET
ONCE　：タイマーが1回動作すると解除されます。タイマーが解除されても設定内容は残ります。
WEEKLY：タイマーを解除するまで選んだ曜日、または毎日動作します。

④ 曜日の設定

「曜日」の設定 ➡ SET
- 曜日の表示については、「時計を合わせる」(➡**17**ページ)をご覧ください。
③で「WEEKLY」を選んだ場合
Mon. - Fri.　:月曜日～金曜日に動作します。
Mon. - Sat.　:月曜日～土曜日に動作します。
Everyday　:毎日動作します。
も選べます。

⑤ ソース(音源)の設定

「FM→MD」、「AM→MD」、「LINE→MD」は録音タイマーになります。
表示窓にRECが点灯します。

「FM」、「AM」、「DISC」、「MD」、「LINE」は再生タイマーになります。

- **「FM→MD」**(FM放送をMDに録音する)**または「AM→MD」**(AM放送をMDに録音する)
➡ SET ➡ 受信する放送局のプリセット番号の選択(数字ボタンでも選べます)**➡ SET**
- **「LINE→MD」**(他の機器の音声をMDに録音する)**➡ SET**
- **「FM」**(FM放送)**または「AM」**(AM放送)
➡ SET ➡ 受信する放送局のプリセット番号の選択(数字ボタンでも選べます)**➡ SET**
- **「DISC」➡ SET ➡ グループ番号の選択**(数字ボタンでも選べます)**➡ SET➡開始するトラック番号の選択**(数字ボタンでも選べます)**➡ SET**
- **「MD」➡ SET ➡ 演奏を開始する曲番号の選択**(数字ボタンでも選べます)**➡ SET**

⑥ 音量の設定

お好みの音量に調節➡ SET

プログラムタイマーの設定は終了です。

MDのグループ録音の設定について

プログラムタイマーでMDに録音するとき、グループ録音の設定は、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。プログラムタイマー設定中は、本体のMODE(モード)またはリモコンの**録音設定**を押しても設定を変えることはできません。
電源「**切**」でプログラムタイマーを設定したあと、グループ録音の設定を変更するときは、電源を「**入**」にしてから操作ください。

ラジオまたはLINEの トラックマークのつけかたについて

プログラムタイマーでMDにラジオまたはLINEの音声を録音するときは、トラックマークのつけかたが選べます。
電源「**入**」のとき、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。設定のしかたは、「ラジオ、他の機器の音声を録音する」(**➡48**ページ)をご覧ください。

プログラムタイマーの解除と 再設定について

プログラムタイマーの解除

「WEEKY」に設定したタイマーを一時的に解除するには、**62**ページの**手順1**で解除するタイマーを選び、SET(セット)を押さないでCANCEL(キャンセル)を押します。表示窓の⏻とプログラムタイマー番号が消灯します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

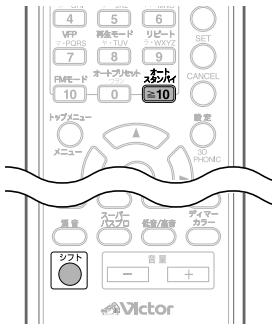
プログラムタイマーの再設定

「ONCE」に設定して動作が終了したタイマー、上記「**プログラムタイマーの解除**」の操作をして一時的に解除されているタイマーを再設定することができます。

62ページの**手順1**で再設定するタイマーを選び、**決定**を押します。設定が終了し表示窓に設定内容が一通り表示されます。

表示窓に ⏻ とプログラムタイマー番号、(REC TIMERのときはREC表示)が点灯していることを確認してください。電源を「**切**」にしておくと、設定した開始時刻でタイマーがスタートします。

オートスタンバイ機能を使う

本機には、ラジオ以外のソース（音源）のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になるオートスタンバイ機能があります。

1 シフト ○ を押したまま オートスタンバイ ≥10 を押す

表示窓に「A. STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STANDBY 表示が点灯します。

オートスタンバイを設定すると
オートスタンバイ機能が動作すると、表示窓のA. STANDBY表示が点滅に変わります。

オートスタンバイの動作
ディスクまたはMDを再生しているとき、またはMDで録音しているとき：
演奏または録音が終了し停止状態になると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
3分以内に演奏または録音の操作をしたときは、演奏または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。
演奏または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分間が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

他の機器の音声を聞いているとき：
無音状態になるとオートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

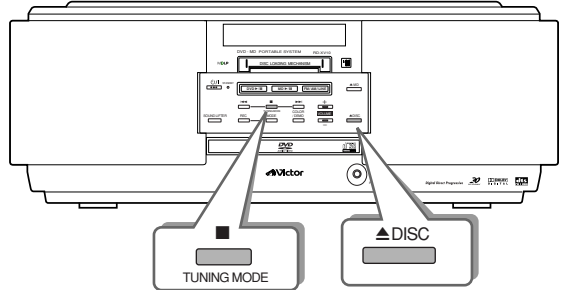
電源が「**切**」になる20秒前になると表示窓の情報表示部に「A. STANDBY」と点滅表示されます。

オートスタンバイを解除する
シフトを押したまま**オートスタンバイ**をもう一度押します。
表示窓に「A. STANDBY OFF」と数秒間表示され、A. STANDBY表示が消灯します。

お知らせ

- DVDビデオのメニュー画面表示中は、オートスタンバイが働きません。

チャイルドロック機能

MD挿入口、ディスクトレイを電子ロックして▲を押してもMDやディスクトレイが出てこないようにします。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 電源を「切」にする

電源が「**入**」のままでは設定できません。

2 ■ TUNING MODE を押したまま ▲DISC を押す

「LOCKED」と表示され、**MD挿入口、ディスクトレイがロックされます。**

LOCKED

- チャイルドロックするとMDまたはディスクトレイのいずれの ▲ を押しても「LOCKED」と表示され、MDまたはCDトレイが出てこなくなります。
- 電源「**切**」のときに▲を押すと「LOCKED」と表示されます。
電源は「**切**」のままです。

チャイルドロックを解除する
もう一度、**手順1**と**2**の操作をします。
「UNLOCKED」と表示され、チャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

初期設定を変更する

お買い上げ時の本機の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

基本操作

条件 <ソース(音源)がDVDで停止中のとき>

1 **シフト を押したまま 設定(3D PHONIC) を押す**

初期設定画面が表示されます。

設定アイコン

言語	
メニュー言語	日本語
音声言語	英語
字幕言語	日本語
画面表示言語	日本語

2 **カーソル ►(または ◄)を押して設定するアイコンを選び、カーソル ▼(または ▲)を押して設定する項目を選んでから 決定 を押す**

3 **カーソル ▼(または ▲)を押して各項目の設定をしてから 決定 を押す**

初期設定画面を消すには
シフトを押したまま**設定**を押します。

言語設定画面

メニュー言語	DVD ビデオのメニューの言語を選びます。
音声言語	DVD ビデオの音声の言語を選びます。
字幕言語	DVD ビデオの字幕の言語を選びます。
画面表示言語	言語設定画面に表示される言語を選びます。

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
- AAなどの言語コードについては、「言語コード一覧」(➡**68**ページ)をご覧ください。

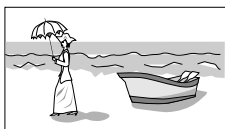
お知らせ

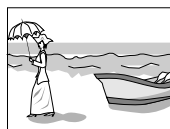
- ワイドテレビをお使いの場合、初期設定画面の上下の部分が切れた状態で表示されることがあります。このようなときは、テレビ側の設定で画像サイズを変えてください。

映像設定画面

がお買い上げ時の設定です。

TVタイプ
お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。

- 16:9
  普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。

- **レターボックス**
  通常のテレビ(4:3)用。上下に黒い隙間がある状態で映ります。

- **パンスキャン**
  通常のテレビ(4:3)用。左右両端が切り取られる状態で映ります(ディスクがパンスキャンに対応していないときは、レターボックス表示になります)。

映像ソース
映像ソースに適した設定を選びます。

- **オート**
  素材タイプ(ビデオ/フィルム)を自動的に判別します。通常はこの設定にします。
- **フィルム**
  フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。
- **ビデオ**
  ビデオ素材の映像に適しています。

スクリーンセーバー
画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー(➡**25** ページ)の **オン**/**オフ**を選びます。

ファイルタイプ
1枚のCD-R/CD-RWディスクに **オーディオ**(MP3/WMA)と**静止画**(JPEG)の両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生可能にするか選びます。
- 設定を変更したあとは、ディスクトレイを開閉してディスクを再度読み込ませてください。

音声設定画面

がお買い上げ時の設定です。

デジタルOUT(デジタル音声出力)
本機のDVDデジタル出力端子に接続する機器に合わせて設定します。

- PCM のみ
  リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダーなどと接続するとき、この設定にします。
- DOLBY DIGITAL/PCM
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **ストリーム/PCM**
  DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDビデオ 96kHzリニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
48/96/192kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM ＊著作権保護がかかっている場合は、出力されません。		
44.1/88.2/176.4kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM ＊著作権保護がかかっている場合は、出力されません。		
DTSのDVDビデオ・DVDオーディオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビッドステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ・DVDオーディオ	ドルビーデジタルビットストリー ム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD・ビデオCD・スーパービデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM/48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
MP3/WMAディスク	32/44.1/48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		

お知らせ
- 著作権保護の設定がされていないDVDビデオの中には20、または24ビットで出力されるものがあります。

音声設定画面(つづき)

がお買い上げ時の設定です。

ダウンミックス
本機のDVDデジタル出力端子に接続する機器に合わせて選びます。デジタルOUTを「PCMのみ」にしているとき設定します(この設定はDVDビデオを再生するときのみ有効になります)。

- **ドルビーサラウンド**
  ドルビープロロジックデコーダー内蔵のステレオアンプやレシーバーなどに接続するとき、この設定にします。
- **ステレオ**
  通常のステレオアンプやレシーバーなどに接続するとき、この設定にします。

お知らせ

- 3D-PHONICが「**オン**」のときは、ダウンミックスが働きません。

Dレンジコントロール
ドルビーデジタル収録された DVD ビデオを小音量で再生したときの聞こえ方の差を補正します。

- **オート**
  Dレンジコントロールが自動的に働く
- **オン**
  Dレンジコントロールが常に働く。

その他設定画面

がお買い上げ時の設定です。

リジューム
リジューム機能(➡**26**ページ)の **オン** /**オフ**を選びます。

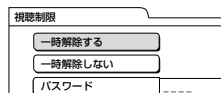
オンスクリーンガイド
オンスクリーンガイド表示(➡**25** ページ)の **オン**/**オフ**を選びます。

視聴制限
DVDビデオの過激なシーンをカットしたり、他のシーンに差し替えたりする視聴制限を設定します(視聴制限に対応しているディスクのみ)。

- **カントリーコード(➡68ページ参照)**
  通常は「JP」を選びます。
- **セットレベル**
  数値が小さいほど制限が厳しく、「なし」は制限なし。
- **パスワード(必須)**
  数字ボタン(1〜9、0)で4ケタのパスワードを入力します(パスワードを忘れたときは、「8888」を入力してください)。
- EXIT
  その他設定画面に戻ります。

視聴制限を一時解除する

視聴制限を厳しく設定しているときは、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、視聴制限を一時解除することができます。

DVD ビデオを再生中に右の画面が表示されたら

1. **カーソル▲ (または ▼)で「一時解除する」を選び、決定を押す**
2. **設定したパスワードを数字ボタンで入力し、決定を押す**
   正しいパスワードが入力されると、視聴制限が一時的に解除されます。
   間違って入力した場合は、「違います。やり直してください」と表示されます。もう一度正しいパスワードを入力してください。
   - パスワードを3回間違えると、自動的に「EXIT」が選ばれます。

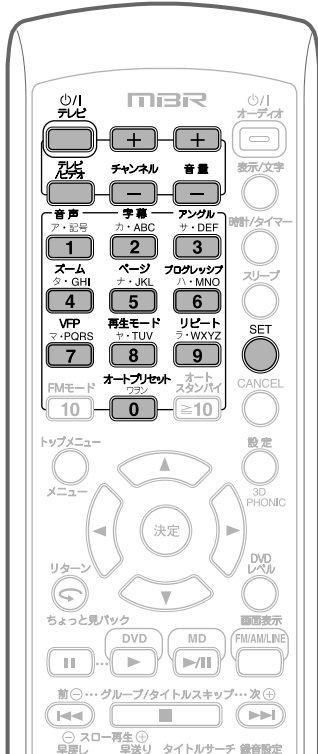
カントリー/エリアコード一覧と言語コード一覧

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

〈言語コード一覧〉

コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語
AA	アファル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブハジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア 語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ（マレー）語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	（アフォン）オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア 語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ - ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国（朝鮮）語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴォラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

リモコンでテレビを操作する

本機のリモコンを使って、ビクター製テレビや他メーカーのテレビを操作することができます。
- **ビクター製のテレビは、お買い上げ時の状態で操作することができます。**

お知らせ
- リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。
- メーカーコードは変更される場合があり、右下表のメーカー製テレビでも操作できないことがあります。

テレビを操作する

ボタン	操作
⏻/I テレビ	テレビの電源を「入/切」する
テレビ/ビデオ	テレビの入力をビデオ入力に切換える
＋/－ チャンネル　＋/－ 音量	テレビ音量の調節とチャンネルの変更

ビクター製以外のテレビのとき

テレビのメーカーコードの設定

1 ⏻/I テレビ を押す

- ⏻/I テレビは**手順2**が終わるまで押したままにします。

2 SET を押してから、下のメーカーのコード番号表を参考に、数字ボタンを使ってコード番号を入力する

- 複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

例: サンヨー[04]の場合、0 ➡ 4
松下[23]の場合、2 ➡ 3 と押す

3 ⏻/I テレビ を離す

リモコンのメーカーコードの変更は終わりです。

メーカーのコード番号表

メーカー名	コード番号
ビクター	01、02、03
サンヨー	04、05、06
シャープ	07、08
富士通ゼネラル	09、10
ソニー	11、12、13
東芝	14
NEC	15
パイオニア	16
日立	17、18
フナイ	19、20、21、22
松下	23、24、25、26
三菱	27
アイワ	28、29
フィリップス	30
コルティナ	31、32、33、34

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

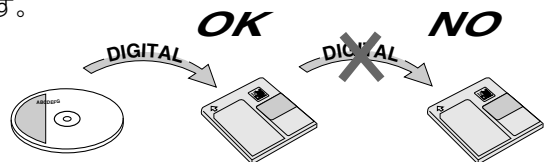
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。(録音可能な最大トラック数は254曲まで)
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下(SP：標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)
（シリアル　コピー　マネージメント　システム）

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03−5353−0336(代)

ご注意
この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。

倍速録音に関して(HCMS)

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度倍速録音(等速を超える録音)した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の録音はできません。
例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲以上録音することはできません。99曲までの録音ができます。

MD/ディスクのメッセージ

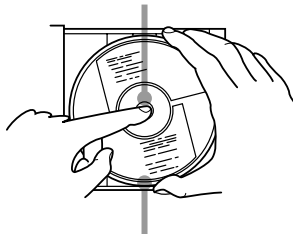
MDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT ENTRY	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡**58**ページ参照)。
CANNOT FORM	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(➡**57**ページ参照)。
CANNOT GROUP	グループに関する情報量の制限を超えている。(グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。(不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲、または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT REC	ビデオCD/スーパービデオCDでPBC再生中に1トラック(曲)録音をしようとした。	PBCを「切」にして(➡**25**ページ参照)再生し、録音してください。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません(➡**50**ページ参照)。
READ ERROR	MDの目次(UTOC)情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡**72**ページ参照)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)を押していったん停止してから、▲MD(MD取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡**57**ページ参照)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音･編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	アナログ録音にします(➡**47**ページ参照)。
HCMS CANNOT COPY	5倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分待ってから録音してください(➡**70**ページ参照)
TR. PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。

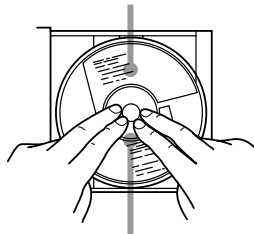
ディスクのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT PLAY	再生できないディスクまたは傷の多いディスクを再生しようとした。	ディスクを交換してください。
NO AUDIO	不法コピーディスクの可能性があります。(音が出ません)	ディスクをお買い上げの販売店で確認してください。

ディスク、MDの取り扱いについて

ディスクの取り扱いかた

•ケースからの出し入れ

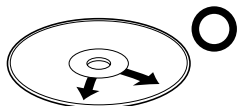
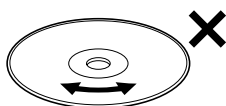
① センターホルダーを押さえ…

②演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

① 文字のある面を上にして…

② 上から押さえて入れる。

- ディスクにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。

- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

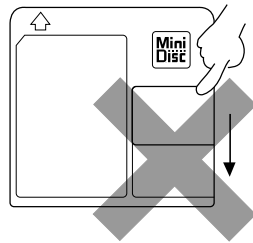
ディスクのお手入れ

再生する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

•シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

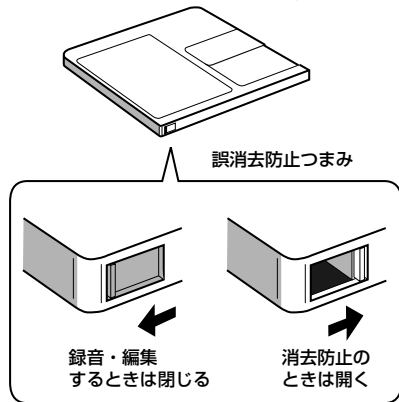
MDの取り扱いかた

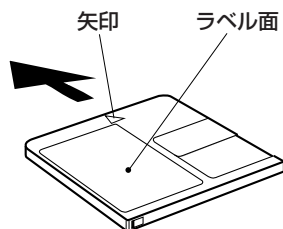
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとMDがこわれます。

定期的にお手入れを

MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

お知らせ

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
勝手に電源が入る。	デモ表示（表示窓に本機の特長などを表示）になっている。	1. ⏻/I（電源）を押して電源を「**切**」にする。 2. COLOR（カラー）/DEMO（デモ）を2秒以上押す。 「DEMO CLEAR」が表示され、デモ表示が出なくなります。	14
映像/音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	12～14
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	10
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いたため。	時計を合わせ直す。	17
ディスク/MDの再生が始まらない。	ディスク/MDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	24 38
	レンズが結露している。	電源を「**入**」にしたまま1～2時間待ち、乾いてから使う。	
特定な箇所が正常に再生できない。	ディスクに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	ディスクまたはMDをクリーニングするか、または交換する。 MDを録音し直す。	72
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。 すでにMDが入っている。	本体と平行にして、軽くMDを押して入れ直す。 MDを取り出してから操作する。	38
録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	72
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	12～13
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	•
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。 タイマーが解除されている。	正しい時刻に設定し直す。 タイマー表示を確認して、設定し直す。	17 62

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは…**
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

- 本機の故障または不測の事態により、録音･再生およびディスク/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

Q & A(よくあるご質問)

Q （ご質問）	A （回答）

ディスクについて

海外で購入したDVD ビデオやビデオCDのディスクを再生することができますか？	DVDビデオの場合は、リージョン番号(ローカル番号)が「ALL 」、または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCまたはPALであれば再生できます。 ビデオCDの場合は、映像方式がNTSCまたはPALであれば再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
リージョン番号(ローカル番号)がないDVD ビデオを再生することができますか？	リージョン番号(ローカル番号)はディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。

音声について

Dolby Digital EXと印刷されたディスクは再生できますか？	ドルビーデジタルと再生互換があるため、再生できます。 ただし、本来の効果を得たい場合は、対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のデジタル音声出力端子を用いてつなぐ必要があります。その際、本機の音声設定画面の中の［デジタルOUT］設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
DTS ESと印刷されたディスクは再生できますか？	再生できます。 ただし、本来の効果を得たい場合は、DTS ES対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のDVDデジタル出力端子を用いてつなぐ必要があります。その際、本機の音声設定画面の中の［デジタルOUT］設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
THXと印刷されているディスクは、どういうディスクですか？本機で再生できますか？	再生できます。 「THX」は、米国ルーカスフィルム社が設けた、高品位な映像･音声収録、または再生における独自の部門及び基準の名称で、その基準に適合したディスクや機器を表すものであり、収録フォーマット自体をさすものではありません。
MP3/WMAとオーディオCDの両方のフォーマットが一枚のディスクに録音されているときは、両方とも再生できますか？	そのような場合は、データCDフォーマットで収録されているため、オーディオCDのトラックは再生できません。MP3/WMAのトラックのみ再生できます。
ドルビーデジタルのディスクには、5.1chサラウンドとドルビーサラウンドという2種類のサラウンド音声が収録されていることがありますが、どう違いますか？	いずれもアメリカ･ドルビー研究所が開発したサラウンド音声の規格です。 ドルビーサラウンドは、サラウンド成分(2ch)を、通常のアナログステレオ音声(左／右)に重ねて記録し、ドルビーサラウンド、およびドルビープロロジックデコーダーによって音声を分離･再生します。 ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)は、最大でフロント左、フロント右、センター、リア左、リア右、LFE(Low Frequency Effect：サブウーハーなどの低音信号用)の計6ch分の音声をデジタル化、圧縮した上で独立して記録し、ドルビーデジタルデコーダーによって再生します。 収録状況にもよりますが、一般的にはドルビーデジタルのほうがより優れた音場効果が得られます。

映像について

DVDビデオやビデオCDの映像に、細かいモザイクのようなものが出るのですが、これは故障ですか？	デジタル収録された動画特有のもの (ブロックノイズ) であり、本機の故障ではありません。

その他

本取扱説明書の操作通りに機能しません。	コンテンツ作成者の意図や構造上の制約等により、本機の操作を受け付けない場合があります。
DVDビデオの映像をビデオテープに録画できますか？	ほとんどのDVDビデオはコピー禁止処理がされてるので、ビデオテープへの録画はできません。
本機で録画はできますか？	録画はできません。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

DVD-MDポータブルシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または**76**ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

73ページの**「故障かな?と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　ー

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0105

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

DVDプレーヤー部

再生可能ディスク	DVDビデオ、DVDオーディオ、オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、CD-R/CD-RW(オーディオCD、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3/WMA/JPEGフォーマット)、DVD-R(ビデオフォーマット)、DVD-RW(ビデオフォーマット)

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間 (MD80使用)	録音モードSP :80分 録音モードLP2 :160分 録音モードLP4 :320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

チューナー部

受信周波数	FM : 76.0MHz～108.0MHz AM : 531kHz～1,629kHz
アンテナ	FM : 75Ω不平衡型/ロッドアンテナ AM : ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	4プログラム動作(ONCE/WEEKLY切換可能)
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分(オートディマー)
時刻表示	24時間表示

共通部

実用最大出力	5W+5W (JEITA/AC)
入力端子	
<アナログ>	LINE×1系統、 500mV/47kΩ:LEVEL 1 250mV/47kΩ:LEVEL 2
出力端子	
<アナログ>	LINE×1系統、 440mV/2kΩ ヘッドホン出力× 1、25mW/32 Ω 適合インピーダンス 16Ω～1kΩ
<デジタル>	DVD/CDデジタル光出力×1 −23dBm～−15dBm (光角型ジャック)
ビデオ出力部	映像出力×1 1.0V(p-p)/75Ω、同期負 S1/S2映像出力×1 Y出力:1.0V(p-p)/75Ω、同期負 C出力:0.286V(p-p)/75Ω D2映像出力×1 Y出力:1.0V(p-p)/75Ω P_b/P_r (C_b/C_r)出力:0～0.7V(p-p)/75Ω
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式(インターレース方式/プログレッシブ方式選択可)
スピーカー	フルレンジフロントバスレフ防磁形 9cm (丸形×2)、4Ω
電源電圧	AC 100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源「入」時 40 W 電源「待機」時 0.9 W(DISPLAY OFF)
最大外形寸法	幅438 mm × 高さ164 mm × 奥行299 mm
質量	約 7.3 kg

付属品 :➡8 ページ参照

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

用語集

英字・数字

B.S.P.
ＤＶＤオーディオの静止画像には、オーディオ再生に合わせて自動的に表示されるもののほかに、ユーザーが任意選択できる画像が収録されている場合があります。このような画像をB.S.P. (Browsable Still Picture)と呼びます。

DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

Dレンジコントロール
ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの場合、大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聞き取ることができる機能です。

JPEG（Joint Photographic coding Experts Group）
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MLP（Meridian Lossless Packing）
DVDオーディオに採用されているマルチチャンネル音声圧縮方式の名称です。圧縮比率は約1/2の可逆データ圧縮方式で完全に元のデータに復元できる圧縮方式です。高音質での再生を可能にしています。

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。

MPEGオーディオ
サラウンド方式の一つで、音声データを圧縮し、最大7.1ch まで対応しています。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式（PAL あるいはSECAM ）を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD （バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC 対応ビデオCD に記録されているメニュ－画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。また、高精細な静止画が収録されているビデオＣＤでは、動画の4 倍以上の解像度で静止画像を再生します。

VFP（ビデオファインプロセッサー）機能
映像の微妙なチューニング（調整）を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正などの項目が調節できます。これまで難しかった映画フィルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

WMA（Windows Media® Audioの略）
米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

あ

インターレーススキャン方式（飛び越し走査）
従来の映像方式で、主にテレビで使われます。

か

コンポーネント
ビデオ信号方式の一つで、光の3 原色の信号（R/G/B）や、それを規準により効率よく変換された映像信号（色差信号: Y / CB/CR）をさします。各々別々の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。

さ

スクリーンセーバー
長い時間、静止画を移しているとテレビ画面が焼き付きをおこし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

た

ダイナミックレンジ
音声レベルの1番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス
サラウンド方式（ 3チャンネル以上）で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

ドルビーサラウンド
サラウンド方式の一つ。フロント･サラウンド計4ｃｈ分の音声信号を、いったん2ｃｈで記録し、専用のデコーダーを通し再生時にはもとの4chに戻します。2ch記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つ。最大フロント3ch、サラウンド2ch、およびサブウーハー0.1ch の5.1chまで対応しています。

は

パケットライト方式
データをCD-R/RWに記録する方法の一つで、ディスクの空き容量に応じてトラックをさらに分割して記録します。本機では、この方式で記録されたCD-R/RWディスクは再生できません。

プログレッシブスキャン方式（順次走査）
ＤＶＤビデオなどで使われている映像方式で、インターレーススキャン方式よりも、ちらつきのない高品位の映像をお楽しみいただけます。

ら

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。ディスクに設定されたリージョン番号と、ＤＶＤプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リニアPCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

索引

数字・英字

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ラ

別売りのオプション品

• RCAピンコード	:CN-180G (1 m)
• 光デジタルケーブル	:XN-110SA
• Sビデオコード	:VC-S110E
• D端子コード	:VX-DS110(Dプラグ〜Dプラグ)
	:VX-DS210(Dプラグ〜ピンプラグ×3)
• DVDレンズクリーナー	:CL-DVDLW
	:CL-DVDLA
• MDレンズクリーナー	:CL-MLA
• アンテナコネクター	:VZ-71A(75Ω/300Ω)
• FMフィーダーアンテナ	:CN-511A(300Ω)
	(アンテナコネクター:VZ-71Aと一緒に使います。)
• 電源コード	:CN-325A(長さ1.8m)

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
76ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0105TNMNATJEM